

# 令和2年度 事業報告

令和2年度事業は、入所部門における業績の維持と在宅部門における業績向上、職員の安定雇用、令和1年末に発生した新型コロナウイルス（COVID-19）対策に対応した施設運営を目的として事業を進めました。

## 事業部報告

【 特養事業部 】 令和2年度は新型コロナウイルス（以下コロナ）に振回された1年でありました。新規入居者とショートステイ（SS）のために受入れ区画を決め（ゾーンニング）感染予防対策を行い、施設内感染の防止に努めました。7月からは、札幌市の補助事業により、多床室（2床室×18室、4床室×6室）のプライバシー化改修工事を実施いたしました。改修工事のための入所者制限もあり、業績的には稼働率が低下いたしました。今後入居者様の生活環境向上のために満足いただけるものと思います。人材確保と育成については、近年続く介護人材不足は、なかなか解消されず紹介会社を使いながらも採用を行い、直接雇用者を増やすことに努めました。人材育成については、職員不足のため業務指導が優先され介護技術指導まで行うことができず、虐待行為や身体拘束等に対応した教育・指導が至らず、再教育を含めて施設内研修を毎月複数回行い介護知識や情報の習得を行っています。1月にはウズベキスタンからの2名の技能実習生を受入れ、実習生の真摯な生活態度や就業姿勢が職員にとっても良い刺激になり、職場の活性化の一翼を担っていただいています。今後も技能実習生の受入れを継続してまいります。

2年度は感染症や改修工事が業績低下の要因にもなっていますが、入居待機者に対する対応も的確に行っていたとは言えません。これも次年度への課題となります。年間平均稼働率はH27年以来の90%以下となり89.64%（83人に対し平均74.40人）となりました。入所者処遇についても前年度から続いている面会制限が通年を通して行われ、入居者様とご家族の皆様にも相当なストレスをかけることとなりました。

【 ショートステイ（SS）事業部 】 今年度は特養プライバシー化工事による居室変更や入院による空床利用等で定員を上回る稼働した年度でした。3年前から行っていた様々なケースに対応したSS受入れが成果となって表れた年でもありました。年間定員4,758名に対し利用実績5,450名、稼働率114.54%（前年102.53%）で特養の稼働率低下の歯止めとしても大きな役割を果たすことができました。コロナによる入所制限やゾーンニングを利用者の皆様に理解をいただいた上での実績です。ただし、反省として職員の確認不足によるトラブル・事故もあり、

接遇面での対応が後手になったことも改善目標としてまいります。

特養とSSの2事業を総合しますと、コロナ禍による影響を別に考え、特養の改修による減収をSSの空床利用で補いながら工事日程と利用日程を調整できたことが総合的な減収を最小限に抑えることができました。それでの年間の平均稼働率は89.32名/日（前年91.36名/日）93.04%（前年95.16%）と安定経営指数である95%を大きく割り込むこととなりました。根本的に特養入所方法については今のやり方（ショートからの特養入所への切換え・新規入所選考方法）の見直しと、医療機関との情報共有による早期対応を行っていかねば、今後も続く感染症のために経営にも大きな影響を及ぼします。96床のベッド稼働率96%以上、職員の安定雇用、業務改善と人材育成を新年度重点方針として令和3年度に事業の立直しを行ってまいります。

【 **デイサービス事業部** 】 コロナによる影響により感染への不安から利用控えや利用者から濃厚接触者が発生し2日間の営業自粛、複数事業所を利用されている方への利用制限、また新規利用者の待機期間を設けてからの利用などにより、稼働率の低下が続いてしまった。サービスメニューにおいては行事を制限されるなか、デザートバイキングやおにぎりの持ち帰りサービスなど新たな取組みを行い好評であるため、今後も継続していきます。

今年度の決算としては収入3,129万円（前年3,550万円▲11.3%）収支差額▲604万円（前年▲166万円▲2.7%）となりました。新規利用者の募集について、居宅支援事業所からの紹介が少ないため、営業活動に充てる時間を増やし、サービスの充実を図り外への情報発信を行い、稼働率回復に努めてまいります。

【 **居宅介護支援事業所** 】 今年度実績として、月平均の請求件数で前年対比11.85%増（150.5件）、収入で11.6%増（2,183万円）となりました。総体的な件数の増加と法人内の介護サービス紹介率を上げるため、7月より5名体制としましたが、1年間で新規55件、廃止が30件あり、新規件数は増加していますが、ケアマネ1人当たりの月平均担当請求件数は前年度29.14件/人から27.05件/人と▲7.17%なり表面上の増収は致しましたが、経営的には減益となりました。年間の件数を実数でも、141件から153件と12件の増加に留まっているため、病院や高齢者住宅など営業活動を強化してまいります。ケアマネ1人当たりの担当件数を意識し、相乗効果をあげていくために法人内の連携を密に行ってまいります。

【 **介護予防センター『屯田』『百合が原』** 】 コロナの影響により、地域活動の自粛が年度のうち半年間あったため、地域の皆さまが自宅で介護予防に取り組めることができるように、体操リーフレットや体操DVD、脳トレCDなどの作成、配布を行った。また画像を携帯電話やパソコンで閲覧できるYouTubeに掲載したり、予防活動を新聞やTV番組に取り上げてもらうなど

メディアを活用して情報発信を行うことで、これまで以上に介護予防の拠点としての認識が浸透しました。また、相談件数では前年度より多い 500 件となり、そこから居宅支援事業所やデイサービスへ繋がるケースも増えてきています。また 1 月からは Zoom を活用したオンラインでの体操教室も開始しコロナ禍での新たな取組みも始めて今後も継続してまいります。

【 グループホーム事業部 】前年度から継続しての改善事項でありました、空床期間の短縮につきましては、退所者 7 名おり、新規の入所までの平均日数が 21 日であり、最短で 6 日、最長で 32 日であった。主な要因として、待機者が少ないことと、待機者のなかでも直ぐに入所可能な方が少ない現状があります。待機者を増加させることと、入院された際に長期入院になるかどうかの判断を早期に行い、退所になる前から次の新規入居者にアプローチを行っていきます。

平均稼働率は 95.25% (前年 96.75%) 介護収入は 8,665 万円 (前年 8,699 万円) 前年比▲0.39% 減少となりました。また、職員による虐待ケースがあり、法人全体での研修や業務改善をとおして認知症ケアに対する意識の改革を行っていきます。

# I 施設概要

## 1 職員配置状況

### (1) 特別養護老人ホーム

令和3年3月31日現在 (単位:人)

職種	施設長	事務員	介護支援専門員	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	医師	調理員	その他	計
基準定数	1	-	1	1	32 (3:1)		1	1	1	-	-	38
常勤	1	3	1	2	36	4	1	1	0	委託	0	49
非常勤	0	0	0	0	13	1	0	0	1	-	4	19
常勤換算	1	3	1	2	43.8 ※1 2.19:1		1	1	-	-	-	

※ その他は、パート職員(洗濯、喫茶) ※1 定員96名に対し介護職員・看護職員の常勤換算43.8人で割った対比

### (2) 通所介護事業所 一般・介護予防一般型

令和3年3月31日現在 (単位:人)

職種	センター長	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	計
基準定数	(1)	1	4	1	(1)	5
常勤	1 (1)	3 (3)	6 (2)	0	0	9 (4)
非常勤	0	0	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)

※( )は兼務

### (3) 介護予防センター百合が原

令和3年3月31日現在 (単位:人)

職種	管理者	生活相談員	計
基準定数	(1)	2	2
常勤	(1)	2	2 (1)

※( )は兼務

### (4) 介護予防センター屯田

令和3年3月31日現在 (単位:人)

職種	管理者	生活相談員	計
基準定数	(1)	2	2
常勤	1 (1)	2 (1)	2 (1)

※( )は兼務

### (5) 居宅介護支援事業所

令和3年3月31日現在 (単位:人)

職種	管理者	介護支援専門員	計
基準定数	(1)	-	-
常勤	1 (1)	5 (1)	5 (1)

※( )は兼務

(6) 認知症対応型生活介護事業所（グループホーム）

《かっこう》

令和3年3月31日現在（単位：人）

職 種	管理者	計画作成担当者	介護職員	計	常勤換算
基準定数	1	(1)	3	4(2.25:1)	6.5人
常 勤	1(1)	1(1)	7(2)	7(2)	※1 対入居者比 1.38:1
非 常 勤	0	0	1(1)	1(2)	

※( )は兼 ※1は、定員9名に対し介護職員の常勤換算6.5人で割った対比

《ゆ り》

令和3年3月31日現在（単位：人）

職 種	管理者	計画作成担当者	介護職員	計	常勤換算
基準定数	1	(1)	3	4(2.25:1)	6.7人
常 勤	1(1)	1(1)	6(1)	6(2)	※1 対入居者比 1.34:1
非 常 勤	0	0	1	1	

※( )は兼 ※1は、定員9名に対し介護職員の常勤換算6.7人で割った対比

2 職員研修実施状況

(1) 施設内研修の状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

開催月日	研修会の名称	担 当	参加職種	参加人数
4/2	・認知症研修 パーソン・センヤード・ケアって何	石山部長	全職種	28
7/2	・感染対策研修 そうだったのか感染予防 ～ウイルスを施設内に持ち込まない～	石山部長	全職種	35
7/22	・事故防止研修 「事故防止について」 ～何が必要かを考える～	事故防止委員会	全職種	39
8/6	・感染症研修 感染対策に関する動画鑑賞 換気・接触感染について	石山部長	全職種	31
9/28	・高齢者虐待防止・身体拘束研修 虐待防止のため介護について考える ・「介護」とは何か？ ～介護について改めて再確認、適切なケアを考えよう	身体拘束廃止・ 虐待防止委員会	全職種	28
10/6	・高齢者の権利擁護 要介護従事者等による高齢者虐待とは	石山部長	全職種	36
10/12	・養介護従事者等による高齢者虐待とは	身体拘束廃止・虐待 防止委員会	全職種	10
10/19	・要介護従事者等による高齢者虐待とは	身体拘束廃止・虐待 防止委員会	全職種	7
10/23	・身体拘束について 「これって身体拘束かな」 事例検討によって身体拘束廃止について考え よい考える介護を目指す。	身体拘束廃止・虐待 防止委員会	全職種	30
10/26	・要介護従事者等による高齢者虐待とは	身体拘束廃止・虐待 防止委員会	全職種	13

11/23	・災害時の対応について 介護保健施設などの防火安全対策 浸水・土砂災害対策	防災・災害対策委員会	全職種	※感染対策にて 資料回覧にて各 部署で実施
12/23	・基本的介護技術 ～車椅子操作～ 基本的介護技術について～車椅子操作～ ～安全に利用できるために～	研修委員会	全職種	※感染対策にて 資料回覧にて各 部署で実施
1/14	・感染症研修 新型コロナウイルスの感染対策	石山部長	全職種	37
2/4	・高齢者虐待防止・身体拘束研修 高齢者虐待防止のセルフチェックリストの 集計を基に共感できるポイント、 他に考えられる対処法について	石山部長	全職種	32
3/4	・災害時研修 当施設の消防設備について	防災委員会	全職種	26
3/18	・倫理・法令遵守、プライバシー保護 施設における倫理、法令遵守について	研修委員会	全職種	※感染対策にて 資料回覧にて各 部署で実施
3/30	・事故防止研修 どこにリスクがあるのか感じ取り、事故が発 生する前に解決していく 「KYトレーニング」	事故防止対策委員会	全職種	28

※感染対策のため資料回覧にて各部署で実施

(2) 施設外研修の状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:人)

月 日	研 修 名	主 催 団 体	参 加 職 種	人 数
9/2	H番号受給者について	札幌市北区第2包括支援 センター	介護支援専門員	2
9/9	令和2年度 第1回ケアマネ資質向 上研修会	一般社団法人札幌市介護 支援専門員連絡協議会	介護支援専門員	3
9/15.16	新任介護職員研修(1)	北海道社会福祉協議会	特養職員	1
9/18	令和2年度認知症ケア特別研修	北海道社会福祉協議会 社会福祉研究所	グループホーム 職員・特養職員	2
9/24	令和2年度 虐待防止実践研修	北海道社会福祉協議会 社会福祉研究所	グループホーム 職員・特養職員	3

※コロナウイルス感染症防止のため、中止が多かった。

3 実習生受入れ状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:人)

学校等の名称	受入月	実人数	延日数	内 容
外国人技能実習	1月	2名	—	ウズベキスタンより外国人技能実習 の受入れ
北海道介護支援専門員実務者研修実 習	3月	1名	1	居宅介護支援事業所における見学実 習及び居宅サービス計画の作成
合 計		3名	1日	

## 4 施設来訪者状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

月	目 的				合 計
	窓越面会	オンライン面会	その他		
4月	18	5			23
5月	62	2			64
6月	64	1			65
7月	61	0			61
8月	62	0			62
9月	68	0			68
10月	64	0			64
11月	34	0			34
12月	0	13			13
1月	0	14			14
2月	0	18			18
3月	0	19			19
	433	72			505

## II 部門別事業報告

## 1 事務管理部門

## (1) 方針について

安定した施設運営を目標に、効率よく無駄のない業務を行い、顧客満足の向上を常に考え、他部門へのバックアップ体制を整える。

## (2) 年間目標

- ・施設設備、機器、備品などの保守・管理、物品の修理交換、受払いに関し迅速・適切に行えた。
- ・他セクションとの連携を密にし、連絡・報告漏れのないよう適切な業務を今後も継続する。

## (3) 年間計画について

- ・理事会、評議員会、監事監査について、計画通り実施する事が出来た。
- ・職員の健康診断、各会議について予定通り実施出来た。
- ・新型コロナウイルスの影響で札幌市防災協会立ち合いの防災訓練を行わず、机上訓練を行った。

## (4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

## (5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

該当なし

月	法人関係	施設関係	各種委員会
4	評議員会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
5	令和元年度決算・事業報告 令和元年度監事監査 理事会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
6	評議員会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
7		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
8		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
9	第1四半期監査	職員健康診断 経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
10	理事会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・親睦
11		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
12	第2四半期監事監査	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
1	理事会	経営運営会議 防災訓練	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
2		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
3	第3四半期監事監査 令和3年度事業計画・収支予算 理事会	経営運営会議 職員健康診断 防災訓練	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策

## 2 特養事業部門

### 1) 生活介護室

・特養2階すずらん・ラベンダーユニット

#### (1) 処遇方針について

・職員1名1名が、入居者様へのアセスメント・把握を行うことにより、個別ケア実施への環境整備が行っていた。御家族様との関りも感染予防を行いながらの実施だが、実施出来た。今後も入居者様やご家族様へのニーズを考えたケアの実践が必要と考える。

(2) 処遇目標について

- ・ニーズの把握や情報の共有に努め、個々に合ったサービスの提供を行ったが職員一人一人に対し介護ケアの質の向上考えた内容を考え実施する必要性が考えられる。
- ・日々の関りの中から個別ケアの実施は出来ていたが、きめ細やかなサービスとして整容・身なりにあった対応等不十分な状況もあり、今後検討・実施が必要と考える。
- ・入居者様の体調変化や事故等、関係セクションへの連絡を速やかに行い適切に対応が行えたが、アクシデント発生後の評価対応が不十分であった為、同様な内容のアクシデント発生につながったケースもある為今後対応が必要と考える
- ・新人職員のノ口研修及び感染症対応者の研修を日程ごとに分け、新人・中堅職員等平等に研修実施を行えた。
- ・個別誕生会は、感染予防を徹底しながら入居者様に合わせた個別企画の実施を行った。今後も感染予防の徹底を行い実施していく。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスや感染症等の発症により中止や縮小して実施した行事もあるが、概ね実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

実施月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施 件 数	ラベンダー	0	0	3	0	0	0	2	1	0	0	0	6	12
	すずらん	0	4	1	1	1	3	1	1	1	0	3	5	21
	合計	0	4	4	1	1	3	3	2	1	0	3	11	33

(5) 事故・ヒヤリ事故報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別事故報告		発生状況別事故件数		発生場所別件数	
転倒・転落	11	介助中	289	居室	38
ヒヤリ転倒・転落	32	自立動作中	378	食堂	32
けが	3	臥床中	1	浴室	0
ヒヤリけが	0	その他・不明	6	トイレ	7
異食・誤飲	1			廊下	3
ヒヤリ異食・誤飲	3			その他・不明	594
誤薬	3				
ヒヤリ行方不明	0				
爪切り	0				
傷・痣	611				
その他	10				
合計	674	合計	674	合計	674

② 事故内容・結果報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結果
R2/4	バンガ-	入居者	トイレ使用中職員が清拭を取りにその場を離れた際動かれ転倒される。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/4	すずらん	入居者	車椅子上で多動暴力行為あり車椅子からずり落ちそうになる。ベッドへ移乗後右腰に痛み有。翌日受診し捻挫との診断。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/6	バンガ-	入居者	居室内で車椅子のフットレストに挟まって長座位の状態である所を発見。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/6	すずらん	入居者	食形態が刻み小の方に他者のミキサー食を誤配膳してしまう。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/6	バンガ-	入居者	食堂にて右側臥位で転倒される。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/8	バンガ-	入居者	居室内で車椅子より転落される。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/8	バンガ-	入居者	居室内で車椅子より転落される。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/8	すずらん	入居者	他者の薬を誤薬してしまう。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/9	バンガ-	入居者	夕食後に朝食後薬を与薬してしまう。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/10	バンガ-	入居者	ベッド上で端座位になった際バランスを崩され倒れられる。その際、ベッド足元のボードに右側頭部をぶつけられる。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/11	バンガ-	入居者	ベッドに座り損ね尻もちをつかれる。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/11	バンガ-	入居者	退院後右股関節痛が聞かれ受診。左仙骨と右恥骨骨折の診断。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/12	すずらん	入居者	他者の薬を誤薬してしまう。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/12	バンガ-	入居者	食堂にてオーバーテーブルにつまづき転倒される。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/2	バンガ-	入居者	夜間ポータブルトイレ使用時に腰痛の訴えあり後日受診し腰椎圧迫骨折の診断あり。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/3	すずらん	入居者	居室内で長座位で転倒されているのを発見する。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/3	すずらん	入居者	歩行中食堂にて転倒される	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:件)

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦情	0	職員の対応	15
ヒヤリ苦情	0		
トラブル	2		
ヒヤリトラブル	13		
<b>合計</b>	<b>15</b>	<b>合計</b>	<b>15</b>

・特養3階鶴・亀ユニット

(1) 処遇方針について

- ・入居者個々の生活を見つめ、より主体性のある人間らしい生活を送って頂けるよう工夫をこらしたサービスの提供を行う事が出来た。また、感染症対策とともに入居者がより快適に過ごして頂けるような環境整備にも尽力する事が出来た。

(2) 処遇目標について

- ・入居者個々のニーズに応えられるよう、カンファレンスやフロアケース会議において柔軟な話し合いが出来ていた。
- ・業務的な介助になってしまう場面が見られたため、個別ケアの意識をより高め、細やかなサービス提供へと繋げていく必要がある。
- ・入居者及び職員の体調変化や事故等、関係セクションへの連絡を速やかに行い適切に対応が行えた。
- ・ヒヤリハットにおける原因究明とその対策に対し実施できていたが、周知が及ばない場面も見られたため、今後に繋げていく。
- ・新型コロナウイルスの影響により地域交流については実施できなかったが、入居者への転嫁を行い、個別誕生会は概ね実施できたと思われる。

(3) 年間計画について

新型コロナウイルスや感染症等の発症により中止や縮小して実施した行事もあるが、概ね実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
実施 件数	鶴	2	3	2	2	2	1	1	3	1	1	2	3	23
	亀	2	0	1	0	2	1	2	0	1	0	2	1	11
	合計	4	3	4	2	4	2	3	3	2	1	4	4	72

(5) 事故・ヒヤリ事故報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別事故報告		発生状況別事故件数		発生場所別事故件数	
転倒・転落	8	介助中	185	居室	20
ヒヤリ転倒・転落	31	自立動作中	154	食堂	46
けが	7	臥床中	0	浴室	0
ヒヤリけが	0	その他・不明	25	トイレ	1
異食・誤飲	0			廊下	1
ヒヤリ異食・誤飲	12			その他・不明	296
誤薬	4				
ヒヤリ行方不明	1				
爪切り	2				
傷・痣	185				
その他	114				
合計	364	合計	364	合計	364

② 事故内容・結果報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

日時	対象者	内 容	結 果	
R2/4	亀	入居者	食堂にて椅子より転落される。前頭部右側に内出血。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/4	亀	入居者	入浴時左手首に内出血と腫脹あり受診。左手小指基節骨骨折の診断。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/4	鶴	入居者	夕食前に移乗介助行った際に職員と共に転倒。その時点では痛みないも、翌朝患部に腫脹、熱感みられ受診。右大腿骨転子部骨折の診断。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/6	鶴	入居者	食堂にて椅子より立ち上がり転倒。頭部打っており受診。異常なし。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/6	亀	入居者	巡回を怠ったことによりベットから転落しそうになっている。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/6	鶴	入居者	就寝後ベッドより転落。頭部打っており受診し異常なし。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/7	亀	入居者	昼食時離床時、左足第5趾の爪が剥がれている。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/8	亀	入居者	右手第1指と第4指に痛み、腫脹あり受診。右手第4指骨折と第1指及び手首打撲の診断。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/9	鶴	入居者	食堂にて椅子より転落。眉間と額に裂傷あり止血。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/9	鶴	入居者	就寝後ベットより転落。額に赤みあり受診し異常なし。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/10	亀	入居者	朝食後床に内服薬落ちており、未服薬となる。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/10	亀	入居者	朝食後左第4指に腫脹、痛みあり受診。左第4指亀裂骨折の診断。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/12	鶴	入居者	左下腿から足首にかけ変色と腫脹、熱感あり受診。骨折の診断なく経過。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/12	亀	入居者	右手第2指の爪切り実施し出血。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/12	亀	入居者	夕食時に翌朝食後薬を服用してしまい、誤薬となる。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R2/12	亀	入居者	右手第1指の爪切り実施し出血。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/1	亀	入居者	夜間臥床中、左腕が体の下に入ってしまったっており、離床すると左前腕に血種出来ており受診。骨折の診断無し。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/1	鶴	入居者	夕食後薬と朝食後薬を取り違えてしまい、誤薬となる。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/3	亀	入居者	食堂にて車椅子より転落。その際、バルーンカテーテル抜去し受診。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/3	亀	入居者	昼食後薬に朝食後薬がセットされており、誤薬となる。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦 情	0	職員の対応	10
ヒヤリ苦情	0	確認不足	1
トラブル	1		
ヒヤリトラブル	10		
合 計	11	合 計	11

## 2) 生活相談室

### (1) 処遇方針について

- ・職員・入居者様との日々のコミュニケーションや各セクションとの情報交換を行い、入居者様が抱えているニーズや要望の把握をしたが、すべてが個々に合った対応ができていない事があった。新型コロナウイルスによる感染予防のため面会制限もあり、ご家族との情報交換が減少され、早期の問題解決に繋げる事ができなかったも事があった。

### (2) 処遇目標について

- ・入居者様の状態変化に応じたカンファレンスや定期的なカンファレンスの開催ができるようになっていく。
- ・入院者数が多い時期や特養プライバシー化工事による空き部屋の確保があったが、短期入所との細かい調整を行う事ができていた。稼働率は89.64%となっており目標の97%には届かなかった。
- ・各セクションが様々な対応の工夫を行い身体拘束はなかったが、不適切なケアに対しての意識が各職員によってばらつきが見られた。
- ・体調不良等による病院受診やその後の経過、転倒などの状況報告やその後の対策など、面会制限を行っている事も考慮しこまめに連絡を行う事ができた。
- ・急な見学希望者への対応も行い、必要な情報提供も行った。また他事業所にも必要時にすぐに連絡ができていく。

### (3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスなどの感染症の影響により中止にした行事もあったが、各セクションや各ユニットで実施できるよう工夫をしながら行えた。

### (4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

### (5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

#### ① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦情	1	職員の対応	1
ヒヤリ苦情	0		
トラブル(請求誤り、申請忘れ等)	0		
ヒヤリトラブル	0		
合計	1	合計	1

苦情申し出者	申し出内容	結 果
R3/3/31 入居者様ご家族	<p>内容：①ご家族様より施設に電話があり、「9：37に着信があったが、何かありましたか」と、連絡がある。2階職員に確認をしたところ、「かけてはいはない、間違いです。」との事で特変等無かった旨を伝えると、「夜に電話があると何かあったのかとびっくりする。間違えたのなら間違えたときちんと言って欲しい」と立腹される。</p> <p>対応：①4/1(木)にご家族様に謝罪の連絡を行う。2日前に同じ電話機から電話をしており、書類を動かした際にリダイヤルボタンを誤って押してしまい、受話器が外れかかってしまったが職員が電話がかかっている事に気が付かず受話器を戻したため、確認の連絡を頂いた際に十分な説明ができなかった旨をお話する。「そうだったら仕方がないです。ただ夜の電話は何かあったと思うので、びっくりしました。」とご理解を頂く。</p>	第三者報告 <del>有</del> ・無 未解決 <u>解決</u>

### 3) 生活看護室

#### (1) 処遇方針について

- ・ 日常の訴え、体調の変化に留意し、情報収集や意見交換を行い対応した。
- ・ 関連病院との連絡・調整を行い、円滑な受診・往診の対応を行うことが出来た。
- ・ 新型コロナウイルスが蔓延している中、感染予防を常に心掛け、感染症が発生することなく経過できた。

#### (2) 年間目標について

- ・ 病状に合わせ、受診の必要性を検討し対応した。
- ・ 健康管理上、御家族から要望や相談があった際はその旨、主治医に報告や相談を行い希望に添えるよう努めた。
- ・ 事故防止に努めていたが、確認作業不足、思い込みによりヒヤリ、事故を防げなかった。
- ・ 病院と調整を行い、健康診断、予防接種が予定どおり行えた。
- ・ 協力病院と調整しながら、御家族の希望に沿った看護ケアを行うように努めた

#### (3) 年間計画について

- ・ 予定通り実施出来た。

#### (4) 事故・ヒヤリ事故報告（ショートステイ含む）

##### ① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：件）

分類別事故報告		発生状況別事故件数	
事故 薬のセット間違い	3	入浴中	0
与薬間違い	2	与薬中	1
ヒヤリ与薬間違い	2	食事中	0
ヒヤリ 転倒、転落	2	介助中	2
その他		その他	6
合 計	9	合 計	9

##### ② 事故内容・結果報告

日時	事故対象者		事故内容	結 果
R2.5.1	特養3階	利用者	病院から漢方薬が処方されたが、薬局が2種類の薬を混在して処方。そのまま、セットし内服してしまった。	施設賠償の有・ <del>無</del>

R2. 6. 26	特養3階	利用者	排便がでていたのをきちんと確認せず、必要のなかった浣腸を実施してしまった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R2. 12. 29	ショートステイ	利用者	追加下剤セット時、ファイルの名前をきちんと確認しなかったため、本人のものではない下剤をセット、内服させてしまった。同時期に利用していた同じ苗字の方の追加下剤だった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3. 1. 13	特養3階	利用者	起床時薬のセットをし忘れた。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3. 2. 12	ショートステイ	利用者	持参の定期薬作成時に、内服回数、内容の確認が正確にできていず、必要な薬のセット、内服ができなかった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：件）

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
苦情	0	確認不足	1
ヒヤリ苦情	0	職員の対応	0
トラブル	0	その他	0
ひやりトラブル	1		
合計	1	合計	1

4) 栄養管理室

(1) 処遇方針について

- ・給食委員会や検食等での意見や要望、前回の反省をもとに行事食や日常の食事の献立を都度見直した。衛生面や食事形態にも留意し、安全な食事提供に努めた。

(2) 処遇目標について

- ・栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の把握と改善に向けて検討を行った。入居者様の年齢や介護度も上がり、栄養状態の維持や改善が難しくなっている。
- ・入居者様個々の嗜好や栄養、嚥下状態に対応した食事提供ができた。
- ・適切な食事形態で事故なく安全な食事提供ができた。
- ・厨房内の衛生管理を適切に行い、食中毒や事故の発生はなかった。

(3) 年間計画について

- ・予定通り実施できた。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：件）

分類別事故件数		内容別事故件数	
誤飲・誤食・誤嚥・誤薬	1	異物混入	1
合計	1	合計	1

② 事故内容・結果報告

日時	事故対象者	事故内容	結果
R2/9/14	特養3階 入居者様	ミキサー粥にプラスチック片が混入しており、口中より発見される。副食の卵豆腐の容器が混入したと思われる。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
苦情	4	職員対応の不備	1
		異物混入	3
合計	4	合計	4

② 苦情内容・結果報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

日時	申し出者	申し出内容
R2/4/19	特養入居者様	汁椀の蓋の裏に汚れが付着(粉薬を溶かしたもの)していた。
R2/5/22	職員	レタスにデスポ手袋の破片が混入していた。
R2/9/17	特養入居者様	御飯の上に髪の毛が落ちていた。
R3/1/8	特養入居者様	ミキサー食に髪の毛が混入していた。

(6) 入居者状況

① 在所者状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日現在 (単位: 人)

在所者	80	男性	21	女性	59
-----	----	----	----	----	----

② 入居者年齢構成

令和3年3月31日現在 (単位: 人)

性別	年齢									計	平均年齢
	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～			
男	0	0	1	7	0	8	5	0	21	84.92歳	
女	0	1	3	4	10	12	18	11	59	88.72歳	
計	0	1	4	11	10	20	23	11	80	87.70歳	

③ 入所前居所

令和3年3月31日現在 (単位: 人)

性別	居所								計
	居宅	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	医療機関	社会福祉施設	その他		
男	12	0	1	0	7	0	1	21	
女	36	0	10	0	9	0	4	59	
計	48	0	11	0	16	0	5	80	

④ 要介護度別利用状況

令和3年3月31日現在 (単位: 人)

性別	要介護度						計	平均介護度
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
男	0	1	5	11	4	21	3.9	
女	0	1	10	31	17	59	4.0	
計	0	2	15	42	21	80	4.0	

## ⑤ 心身の状況

令和3年3月31日現在(単位:人)

寝たきり度		寝たきり度判定基準				
		ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	計
認知症自立度						
認知症は認められない		1	0	0	0	1
認知症自立度 判定基準	ランクI	0	1	0	0	1
	ランクII	1	5	13	0	19
	ランクIII	0	11	24	6	41
	ランクIV	0	4	11	2	17
	ランクM	0	0	1	0	1
計		2	21	49	8	80

## ⑥ 月別入居状況

令和2年4月1日~令和3年3月31日現在(単位:人)

性別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	男		2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1
女		3	3	0	2	0	2	1	0	1	0	3	3	18
計		5	3	1	3	1	2	1	0	2	0	3	4	25

## ⑦ 施設在所期間

令和3年3月31日現在(単位:人)

性別	在所期間	6ヶ月以内	6ヶ月~1年未満	1年~2年未満	3年~4年未満	5年~6年未満	7年~8年未満	9年以上	計
	男		3	4	5	3	4	1	1
女		9	6	17	12	8	1	6	59
計		12	10	22	15	12	2	7	80

⑧ 入居者のADL状況

令和3年3月31日現在(単位:人)

区 分			合計	2 階		3 階		
				ラベンダー	すずらん	鶴	亀	
歩 行	自立歩行		3	2	0	1	0	
	歩行補助具使用(杖・歩行器・手押し車)	自立	3	1	2	0	0	
		要介助	9	1	2	4	2	
	車椅子使用	自立	15	4	1	2	8	
要介助		51	15	13	15	8		
食 事	自立		43	15	12	7	9	
	一部介助		19	4	1	9	5	
	全介助		18	3	5	6	4	
入 浴	自立		0	0	0	0	0	
	一部介助		3	2	1	0	0	
	全介助		76	19	17	22	18	
	一般浴		0	0	0	0	0	
	介助浴		8	4	1	2	1	
	特浴		72	18	17	20	17	
着 脱	自立		5	2	2	0	1	
	一部介助		34	12	10	5	7	
	全介助		41	8	6	17	10	
排 泄	昼 間	トイレ使用	自立	12	5	2	0	5
			誘導	31	4	8	14	5
	夜 間	トイレ使用	自立	10	3	4	1	2
			介助	32	6	6	13	7
おむつ使用(簡易おむつを含む)			77	22	16	22	17	
整 容	自立		22	9	9	0	4	
	一部介助		21	6	3	7	5	
	全介助		37	7	6	15	9	
	自立		26	6	7	6	7	
全介助		54	16	11	16	7		

※歩行・移動、排泄について重複あり

⑨ 月別入退院者状況

令和3年3月31日現在(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入・通院	4	5	4	2	3	1	4	4	2	2	2	4	37
入院者数	4	5	4	2	3	1	4	4	2	2	2	4	37
退院者数	3	1	3	1	3	2	3	3	1	0	2	2	24

⑩ 入居者の動向

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

年 月	定 員	入 所	退 所			月末人員
			死亡	長期入院	その他	
2年4月	83	5	2	2	0	76
5月	83	3	1	0	0	77
6月	83	1	2	1	0	75
7月	83	3	0	1	0	78
8月	83	1	0	1	0	77
9月	83	2	0	2	0	77
10月	83	1	0	0	0	78
11月	83	0	0	0	0	78
12月	83	2	0	2	0	78
3年1月	83	0	0	0	0	78
2月	83	3	0	1	1	79
3月	83	4	2	2	0	80
計	996	25	7	12	1	931
			20			

⑪ 診療科別入通院状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

月	科 区分	内 科	外 科	整 形	皮 膚 科	泌 尿 器 科	循 環 器 科	脳 外 科	婦 人 科	精 神 科	耳 鼻 科	眼 科	歯 科	そ の 他	計
4	入院	4													4
	通院	209		11	20	11		2		12			15		280
5	入院	2		1				2							5
	通院	148		7	19	9		2		6			25		216
6	入院	3						1							4
	通院	194	1	11	13	11	2	2		6	1	1	17	1	260
7	入院	2													2
	通院	204		2	17	13	2			7			22		267
8	入院	1	1				1								3
	通院	186	1	5	18	12	2	1	1	6			28		260
9	入院		1												1
	通院	232	1	8	20	16		2		6		8	29		322
10	入院	3						1							4
	通院	214		3	18	12	3	4		6		11	22		293
11	入院	1		1				2							4
	通院	177	1	3	19	13		2		6	2	8	18	2	251
12	入院	2													2
	通院	171		19	21	12		3		13		7	19		265
1	入院	1					1								2
	通院	174		10	20	14		2		8	2	3	21	1	255
2	入院							1							1
	通院	172		5	20	14		4		9		7	19		250
3	入院	3		1											4
	通院	220		10	18	14		2		9	2	6	16		297
入院計		22	2	3			2	7							36
通院計		2301	4	94	223	151	9	26	1	94	7	51	251	4	3216

## ⑫ 入院・通院状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

病院名	主な科目	通院者	入院者	病院名	主な科目	通院者	入院者
北光循環器クリニック	循環器	3		五稜会病院	精神科	91	
東徳洲会病院		4		坂泌尿器科	泌尿器科	6	
札幌百合の会病院	内科	2298	15	心臓血管クリニック	循環器	4	2
	整形	58		麻生形成	形成	1	
道都病院	外科	4	6	日之出歯科	歯科	251	
小野眼科	眼科	1		禎心会病院	脳神経	10	1
新川まえだ眼科	眼科	49			整形	1	1
太平眼科	眼科	1			内科	1	2
北海道泌尿器科	泌尿器	1			頭頸科	2	
麻生脳神経外科	脳神経	1	1	小林皮膚科	皮膚科	218	
北辰病院	内科	1	1	愛心メモリアル	循環器	2	
さっぽろ病院	整形	3		北脳神経外科	脳神経	10	2
JR病院	整形	4		勤医協中央病院	整形	2	1
川嶋泌尿器科	泌尿器	144		クラーク病院	整形	4	
本間皮膚科	皮膚科	5		札幌中央病院		2	2
啓生会病院	精神科	3		北海道脳外	脳外	3	2
麻生北クリニック	耳鼻科	7		厚生病院	婦人科	1	
いとが整形	整形	20		<b>合 計</b>		<b>3216</b>	<b>36</b>

※入院理由内訳 内科／誤嚥性肺炎、心不全、低酸素血症、摂食障害、意識障害、腎盂腎炎、低酸素血症、血圧低下、腎不全、蜂窩織炎他 外科／胃ポリープ、イレウス他 脳外科／脳梗塞、一過性脳虚血 循環器／循環不全他 整形／骨折

## ⑬ 月別稼働数

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

年月	定数	在所有者合計	入院加算	合計	稼働率
2年4月	2,490	2,188	13	2,201	87.87%
5月	2,573	2,225	33	2,258	86.47%
6月	2,490	2,138	29	2,167	85.86%
7月	2,573	2,286	18	2,304	88.85%
8月	2,573	2,286	18	2,304	88.85%
9月	2,490	2,242	2	2,244	90.04%
10月	2,573	2,356	15	2,371	91.57%
11月	2,490	2,250	28	2,278	90.31%
12月	2,573	2,332	11	2,343	90.63%
3年1月	2,573	2,347	9	2,356	91.22%
2月	2,324	2,094	15	2,109	90.10%
3月	2,573	2,414	12	2,426	93.82%
<b>合計</b>	<b>30,295</b>	<b>27,158</b>	<b>203</b>	<b>27,361</b>	<b>89.65%</b>

⑭ ボランティアの受入れ状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:件)

区 分	内 容	前年度実績	年間件数	主 な 団 体 名
技術奉仕		有・無	0	
作業奉仕	縫い物など	有・無	0	ひまわりクラブ
介助奉仕	行事手伝い・移動介助・クラブ 活動手伝い他	有・無	0	橋本氏・中田氏・木嶋氏・ 山田氏・荻原氏・福本氏
指導奉仕		有・無	0	
そ の 他		有・無	0	

⑮ クラブ活動状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (1回平均・単位:人)

クラブ名	参 加 人 員			指 導 者 等	開 催 状 況
	男	女	計		
手 芸	0	4~7	4~7	職員 ボランティア0名	月1~3回
フラワーアレンジ メント教室	0	10~14	10~14	フラワーひまわり 野宮氏	月1回(水)
音楽療法	0~2	3~6	4~6	音楽療法士 上田氏	週1回(火 or 金) AM
	4~6	10~20	14~26		週1回(火 or 金) AM

⑯ 慰問団体の受入れ状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

慰問内容	団体名	慰問内容	団体名
感染予防のため、今年度は慰問受け入れを中止となっている。			

⑰ 行事報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月 日	行事名	参加人数	内 容	反 省
毎月	法話会		浄恩寺僧侶のお話し	コロナウイルス感染防止のため中止
4月28日 (火)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。 各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
5月20日 (水)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。 各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
6月10日 (月)	イトヨーカ堂 アリオ店移動 販売			感染症のため中止となる。

月 日	行事名	参加人数	内 容	反 省
6月18日 (木)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
7月7・8・16・17日 (火・水・木・金)	ジンギスカン	入居者全員	ユニット毎で実施し食材を調理が見える位置に座り、見た目・においで食欲の増進を図る。	普段あまり食欲がない方も、おにぎりやお肉などたくさん食べられていた。16日の開催時につくねで詰まりあるも、すぐ看護師が対応しその後特変は見られなかった。
7月28日 (火)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
8月1日 (土)	夏祭り	入居者全員	盆踊りは別に機会とし、夏祭りとして開催する。参加する時間帯を分け、感染予防対策をしながら実施する。	午前の部と午後の部に分け、食事コーナーとゲームコーナーも場所を離すなど感染対策を行いながら実施した。時間的にも余裕があり、皆さん楽しんでいた。
8月7日 (金)	七夕	入居者全員	各ユニット毎で七夕の由来、短冊の願い事の発表、七夕にちなんだゲームなどの実施する。	短冊発表時はユニークな願い事もあり、笑い声が多くあった。七夕の歌の合唱の際参加者全員で歌えており笑顔見られ楽しんでいる様子であった。
8月14日 (金)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
9月中旬	バスレク			感染症のため中止となる。
9月15日 (火)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
9月19日 (土)	敬老祝賀会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	午前中に1階にて写真撮影を行い、午後から各ユニットで時間を分けてお祝いを行った。フォトフレームを作成も問題無く行えた。記念品の水ようかんがとても好評であった。
10月13日 (火)	イトヨーカ堂 アリオ店移動 販売			感染症のため中止となる。
10月22日 (木)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
10月26・27・29・30日 (月・火・木・金)	秋のデザート バイキング	入居者全員	各ユニット毎にデザートを並べ、バイキング形式で楽しんで頂く。	クレープはできるだけ好みを聞きながら作成する事ができ、個人の食事形態に合わせて提供する事で様々な種類が作成できた。1週間で4ユニットの開催は準備などバタバタするため、次回は1週間で2ユニットなど開催時期を連続にしないなどの検討が必要。
11月16日 (月)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。

12月18日 (金)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
12月25日 (金)	クリスマス会	入居者全員	ユニットごとで食事後、休憩を挟み余興(合唱や職員の出し物)を楽しんで頂く。	担当の方との打ち合わせ不足があったが、イントロクイズや職員による仮装相撲大会も楽しんでいた。
1月8日 (金)	もちつき大会	入居者全員	入居者・職員が順番で餅を搗いて頂く。	入居者様や職員にも餅を搗いてもらい、手拍子をしながら見ている方も楽しく実施できた。おやつのお汁粉も喉つまりの事故も無く摂取して頂けた。
1月12日 (金)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
2月3日 (水)	節分	入居者全員	年男、年女の紹介後、鬼が登場し皆さんで豆まきを行い無病息災を祈る	鬼の登場に驚きながらも、「鬼は外、福は内。」と懸命に豆を投げられる他、笑顔も多くみられていた。落花生を殻ごと食べようとする方も、近くで見守りすることで防止でき、進行もスムーズにできていた。
2月17日 (水)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
3月3日 (水)	ひな祭り	入居者全員	ユニットごとにひな祭りにちなんだゲームや合唱を行い楽しんで頂く。	ひな祭りや春にちなんだ曲を流し、職員と皆さんで合唱を楽しむ事ができた。
3月22日 (月)	誕生会	入居者全員		感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。

⑱ 食形態別状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:人)

月	形態	常食	軟菜	刻み食・ソフト食	ミキサー食	糖尿食	減塩食	その他(ゼリー食など)	合計
4		8	17	16	12	6	8	0	67
5		8	15	22	12	6	9	0	72
6		8	15	20	12	6	8	0	69
7		8	15	18	14	6	8	1	70
8		8	16	18	14	7	8	1	72
9		8	16	19	14	7	8	1	73
10		8	17	19	14	7	8	1	74
11		9	17	19	14	6	8	0	73
12		9	17	18	12	6	8	1	71
1		11	16	19	12	5	9	1	73
2		11	15	18	12	4	9	1	70
3		11	14	21	12	4	10	1	73
合計		107 12%	190 22%	227 27%	154 18%	70 8%	101 12%	8 1%	857

※食形態の刻み食の中にソフト食の方を含む

⑱ 行事食実施状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月	行事名	行事食内容
4	・誕生会(27日)	・かにめし、清汁、はんぺん二色揚げ、おろし酢和え、フルーチェ ケーキ
5	・端午の節句(5日) ・誕生会(20日)	・弁当(五目御飯、清汁、メンチカツ、南瓜煮物、玉子焼、ウインナー ほうれん草白和え、漬物)、ゼリー ・すき焼き、清汁、わかめ御飯、もずく酢、豆乳茶碗蒸し、ケーキ
6	・北海道神宮祭(15日) ・誕生会(8日)	・いなり寿司、清汁、天ぷら、卵豆腐、三色和え ・弁当(竹の子御飯、とんかつ、厚焼卵、エビチリ、三色なます、漬物) 清汁、ケーキ
7	・野外食(7-17日) (デイ9-15日) ・誕生会(28日)	・ジンギスカン、野菜、うどん、おにぎり(ワカメ・赤かぶ菜めし)、漬物 ・うなぎちらし寿司、清汁、鶏松風焼、南瓜さつまサラダ、あんみつゼリー
8	・夏祭り(1日) ・七夕(7日) ・お盆(15日) ・誕生会(24日)	・いなり寿司、清汁、みそおでん、のり和え ・ちらし寿司、そうめん汁、鶏から揚げ、和え物 ・ゆかり御飯、清汁、天ぷら、煮しめ、酢の物 ・ほたて御飯、鮭塩焼、鶏八幡巻、カニコロッケ、五目しんじょ、 ごま和え、漬物、スイカ、茶碗蒸し、清汁、ケーキ
9	・敬老祝賀会(19日) ・誕生会(15日)	・赤飯おにぎり、卵細巻寿司、刺身、炊き合わせ、茶碗蒸しかにあんかけ 清汁、ババロア ・栗山菜おこわ、鶏味まよ焼、エビフライ、しゅうまい、干草焼 辛子和え、清汁、おはぎ
10	・誕生会(22日)	・鮭混ぜ寿司、清汁、青じそつくね、炊き合わせ、さつま芋サラダ ケーキ
11	・誕生会(16日)	・生ちらし寿司、清汁、二色とり天、茶碗蒸し ケーキ
12	・誕生会(18日) ・ディナークリスマス会(24.25日) ・クリスマス会(25日) ・年越し(31日)	・石狩鍋、桜えびご飯、茄子はさみ揚げ、柚子なます、清汁 クリームどら焼き、甘酒 ・かに散らし寿司、ローストチキン、ポテトサラダ、カラフルオムレツ エビフライ 清汁、クリスマスケーキ ・年越しそば、寿司盛合せ(いなり・卵細巻)、盛り合わせ、ピーナツ和え
1	・正月(元旦)  (2日)  (3日)  ・誕生会(12日)	《朝食》芋もち雑煮、ゆかりごはん、和え物、黒豆 《昼食》赤飯、梅蒲鉾、ブリ照焼、昆布巻き、豆腐すりみ焼 カニコリームコロッケ、炊き合わせ、清汁 《おやつ》干支羊羹、昆布茶 《夕食》ご飯、清汁、うま煮、干草焼、紅白なます 《朝食》ご飯、味噌汁、しんじょう煮物、金平牛蒡、漬物 《昼食》ちらし寿司、清汁、煮物、和え物、紅白牛乳寒天 《おやつ》栗きんとん 《夕食》ご飯、味噌汁、鶏松風焼、じゃが芋エビあんかけ、香り和え 《朝食》ご飯、味噌汁、寿厚焼卵、三色和え、漬物 《昼食》ご飯、天ぷら、煮物、茶碗蒸し 《おやつ》どら焼き 《夕食》ご飯、清汁、鮭幽庵焼、大豆の煮物、カリフラワーマリネ ・すき焼き、ひじきご飯、清汁、大根梅じそ和え、ケーキ
2	・節分(2日) ・誕生会(17日)	・いなり寿司、卵巻寿司、清汁、和風ミートローフ、磯和え、煮豆 まんじゅう 甘酒 ・赤飯、鮭塩焼、鶏からあげ、紅白蒲鉾、厚焼卵、煮物、酢味噌、清汁 ケーキ

3	・雛祭り(3日)	・散らし寿司、鶏菜種焼、辛子和え、清汁 桜餅、甘酒
	・誕生会(22日)	・ちゃんこ鍋、たわらおにぎり、ちくわ磯辺揚げ、里芋サラダ ケーキ
	・寿司の日(16日)	・寿司盛合せ(マグロ、ホタテ、エビ、サーモン、カニマヨ、卵、いなり) 清汁、茶碗蒸し

## 5) 短期・予防短期入所生活介護事業

### (1) 処遇方針について

- ・個々の状況を日々の関わりからニーズを捉えることで、必要な介護の提供を行うことで、サービス利用後の在宅生活を継続できるよう配慮しながら対応した。
- ・状況変化等は随時関係セクションと報告・連絡・相談するよう努めた。利用中の特変事項やニーズの変化もその都度セクション内で情報共有し、問題があれば解決できるよう努めた。必要な内容をご家族や介護支援専門員等と連絡を取りながら、情報の共有と対応方法の検討に努めた。

### (2) 処遇目標について

- ・長期入所ベッドを入院期間や入所時期の確認を行いながら効率よく空床利用して頂けるよう心掛けた。空床情報を各事業所へ連絡や訪問し、新規利用者獲得や継続利用して頂けるよう努め、目標稼働率の85%を達成することができた。来年度も目標達成ができるよう努めていく。
- ・ケアプランを基に施設生活において必要とされる援助計画を作成・実施するよう努めた。
- ・普段よりご本人やご家族と関わりを多く持つよう意識し、情報共有、ニーズの把握・サービス提供内容について検討しながら対応した。新規利用者獲得とリピーター獲得について、今後もより意識を高めて取り組んでいく。
- ・日頃の送迎時や担当者会議等でご家族や介護支援専門員、他連携機関等と連絡を取り、課題点の把握やサービス利用中の問題点を把握し、共に問題解決へと繋げられるよう心掛けた。

### (3) 年間計画について

- ・計画通り実施。

### (4) 事故・ヒヤリ事故報告（特養と重複有り）

#### ① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：件）

分類別事故報告		発生状況別事故件数	
転倒・転落	1	介助中	4
ヒヤリ転倒・転落	23	トイレ中	0
一人での外出	0	移動中	1
ヒヤリ一人での外出	0	歩行中	0
誤薬	2	臥床・就寝中	5
ヒヤリ与薬忘れ	1	車いす乗車中	0
傷・痣	0	その他	30
その他	13		
合計	40	合計	40

## ② 内容・結果報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結果
R2/5	2F すずらん	利用者	爪切りにて、左第4指を裂傷。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R2/9	2F すずらん	利用者	フロア業務のみを行っており、入居者の体調変化の見落としをし、他職員が気づき対応。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R2/12	2F すずらん	利用者	入浴時に左上腕の腫れに気づき受診。左上腕骨近位端骨折の診断。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R2/12	3F 亀	利用者	KOT-3 日出ていないと思い込み、下剤を追加。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/2	3F 亀	利用者	定期薬である向精神薬のセットを、屯用と思い込みセット忘れする。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/2	3F 亀	利用者	自室にて転倒。痛み継続あり整形受診し、右腸骨打撲の診断を受ける。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/2	3F 亀	利用者	トイレ誘導時に左下腿から足首にかけ腫脹。整形受診し、左腓骨骨折の診断。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

## (5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（特養と重複有り）

## ① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：件）

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
苦情	0	ケアの内容	0
ヒヤリ苦情	0	職員の対応	23
トラブル	1	その他	0
ひやりトラブル	22		
合計	23	合計	23

## ② 苦情内容・結果報告（特養に掲載）

トラブルの起因者	トラブル内容	結果
2F ショート利用者様	ショート入所時に家族より申し送られていた内容（夜間はリハビリパンツ着用させてほしい）の申し送り忘れをしまい、対応の不備があった。	第三者報告有・ <input type="checkbox"/> 未解決・解決

## (6) 利用者状況

## 要介護度別利用状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:人)

月	内 訳	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4	実人員	0	1	5	3	4	8	5	26
	延利用者数	0	13	84	21	74	193	69	454
5	実人員	0	1	4	2	2	8	3	20
	延利用者数	0	14	57	9	41	189	43	353
6	実人員	0	1	3	3	5	10	3	25
	延利用者数	0	14	49	21	66	207	38	395
7	実人員	0	1	3	4	5	11	3	27
	延利用者数	0	7	44	58	92	246	48	495
8	実人員	0	0	2	5	5	10	2	24
	延利用者数	0	0	61	65	109	249	43	527
9	実人員	0	1	3	5	4	11	3	27
	延利用者数	0	15	37	33	105	245	54	489
10	実人員	0	1	3	4	4	8	3	23
	延利用者数	0	3	55	54	110	174	21	417
11	実人員	0	1	2	1	5	9	2	20
	延利用者数	0	10	32	18	114	204	15	393
12	実人員	0	1	2	2	5	11	2	23
	延利用者数	0	8	31	18	122	259	40	478
1	実人員	0	1	2	2	6	10	2	23
	延利用者数	0	12	46	16	139	259	46	518
2	実人員	0	1	2	4	5	12	2	26
	延利用者数	0	7	49	23	107	227	29	442
3	実人員	0	1	3	5	5	11	2	27
	延利用者数	0	10	69	42	104	238	22	485
計	実人員	0	11	34	40	55	119	32	291
	延利用者数	0	113	614	378	1183	2690	468	5446

## 3 在宅事業部

## 1) 通所介護室

## (1) 処遇方針について

## (通所介護)

- ・利用者様の心身の状態やニーズの把握に努め、ご本人の個々に応じたサービスの提供、取り組みが出来た。また、顧客満足向上を意識し、お客様に安心、安全な介護を実施しよう心掛ける事が出来た。

## (第1号通所事業)

- ・個々の能力に応じた関わりを行い、楽しみながら活動の機会の提供をする事により生きがいや楽しみをもてる支援を提供する事が出来た。

(2) 処遇目標について

(通所介護・第1号通所事業共通)

- ① 利用者様の状況報告や写真付きの空き情報のお知らせをし活動報告を実施。定期的に居宅事業所との連絡をとりスムーズな調整を図るよう心掛けていた。また、新たにリーフレットを作成し居宅事業所への挨拶まわりや営業を行い当事業所を周知して頂けるよう努めた。
- ② 計画書の作成・評価など各自、必要となるサービスを把握し提供できるよう意識を持ち取り組むことが出来た。
- ③ 季節に合わせた工作や頭の体操、通信が竹の豊富な曲数により充実した余暇活動の提供ができた。また、通信が竹のコンテンツを利用し月替わりの体操メニューや集団体操のメニューも増やし楽しみながら歩行練習できる機会を提供し充実させることができた。
- ④ 担当者会議への積極的な参加や送迎時にはご家族様とも交流の機会をつくり利用者や家族の心身の状態把握をする事でより個々に応じたサービスの提供が出来た。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスの影響により、感染予防を重要視し外出行事を自粛する。そのため個別誕生会やバスレク、流しそうめんを中止。代替行事として、感染予防しながらのデザートバイキングやテイクアウトを利用したお楽しみランチなどを実施し好評であった

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別事故報告		発生状況別事故件数	
転倒・転落	1	介助中	2
ヒヤリ転倒・転落	3	自立動作中	10
ヒヤリ異食	1	食事中	17
傷・痣	36	レク中	1
むせ・つまり	20	不明	22
ヒヤリ与薬忘れ	1	送迎時	2
ヒヤリケア漏れ	1	入浴中	1
与薬忘れ	1	その他	9
<b>合 計</b>	<b>64</b>	<b>合 計</b>	<b>64</b>

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
ヒヤリ苦情	1	職員の対応	3
ヒヤリトラブル相談	3	その他	1
<b>合 計</b>	<b>4</b>	<b>合 計</b>	<b>4</b>

日時	事故対象者	事故内容	結 果
R2/8	デイサービス利用者	廊下歩行練習中にふらつき転倒。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R2/12	デイサービス利用者	爪切り介助中に右第2指裂傷。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

R3/2	デイサービス利用者	預かり昼食後薬内服介助を忘れる	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/2	デイサービス利用者	爪切り介助中に右第5指裂傷。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

(6) 利用者状況

① 利用者の年齢構成（令和2年3月現在実人数）

ア) 一般型

(単位：人)

性別 \ 年齢	64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
男性	1	0	2	2	1	4	6	16
女性	0	1	2	2	6	10	6	27
計	1	1	4	4	7	14	12	43
率(%)	2.33	2.33	9.3	9.3	16.28	32.56	27.91	100

イ) 介護予防(人)

(単位：人)

性別 \ 年齢	64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
男性	0	0	0	1	0	0	1	2
女性	0	0	0	0	4	2	2	8
計	0	0	0	1	4	2	3	10
率(%)	0	0	0	10.0	40.0	20.0	30.0	100

② 年間利用者状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位：人)

月	開設日数(日)	形式	実人員	新規	廃止	延べ利用人員	一日平均利用者数	形式	実人員	新規	廃止	延べ利用人員	一日平均利用者数
4	22	一般	40	1	3	287	13.05	予防	9	0	0	49	2.23
5	21	一般	42	1	1	288	13.71	予防	10	0	0	49	2.33
6	22	一般	35	2	3	276	12.55	予防	10	0	0	61	2.77
7	23	一般	36	4	0	294	12.78	予防	10	0	0	64	2.78
8	21	一般	33	2	0	253	12.05	予防	9	0	1	53	2.52
9	22	一般	39	1	3	306	13.91	予防	10	0	0	66	3.0
10	22	一般	42	0	3	331	15.05	予防	10	1	0	63	2.86
11	19	一般	44	0	1	300	15.79	予防	9	0	0	44	2.32
12	21	一般	44	0	0	311	14.81	予防	9	0	0	58	2.76
1	20	一般	42	0	3	315	15.75	予防	10	0	0	57	5.7
2	20	一般	33	0	2	218	10.90	予防	10	0	0	40	4.0
3	23	一般	28	1	4	232	10.09	予防	9	0	0	45	5.44
<b>計</b>	<b>256</b>	<b>一般</b>	<b>458</b>	<b>21</b>	<b>12</b>	<b>3411</b>	<b>13.32</b>	<b>予防</b>	<b>115</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>649</b>	<b>5.64</b>

※実人員は、当該月に1回でも利用のあった者（当該月に4回利用した人も1人とカウントする）

※延べ利用人員は、当該月の利用人数の合計（例 当該月に4回利用した場合は4とカウントする）

※廃止内訳（介護保険施設入所、長期入院、転居、死亡、本人希望、その他）

## ③ 要介護度別利用者状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

月	型	要支援		要介護					計	
		1	2	経過	1	2	3	4		5
4	一般	21(5)	43(5)	0(0)	114(16)	129(15)	22(2)	11(2)	18(1)	358(46)
5	一般	13(4)	40(5)	0(0)	85(14)	113(14)	21(2)	17(2)	17(1)	306(42)
6	一般	22(5)	44(5)	0(0)	132(18)	92(14)	60(5)	4(1)	18(1)	372(49)
7	一般	20(5)	43(5)	0(0)	145(21)	100(13)	64(6)	3(1)	19(1)	394(52)
8	一般	20(5)	24(4)	0(0)	155(22)	67(13)	60(7)	11(1)	7(1)	344(53)
9	一般	24(5)	34(4)	0(0)	162(24)	83(12)	44(6)	9(1)	13(1)	369(53)
10	一般	21(6)	36(4)	0(0)	161(21)	89(13)	38(6)	9(1)	18(1)	372(52)
11	一般	16(6)	24(4)	0(0)	118(18)	32(9)	36(3)	18(2)	14(1)	357(48)
12	一般	17(5)	28(4)	0(0)	138(16)	34(5)	39(4)	16(2)	5(1)	331(47)
1	一般	15(4)	24(3)	0(0)	143(16)	34(6)	28(3)	0(0)	0(0)	336(49)
2	一般	19(5)	23(3)	0(0)	150(18)	38(5)	27(2)	0(0)	9(1)	337(52)
3	一般	20(4)	35(4)	0(0)	179(17)	52(6)	33(4)	0(0)	29(2)	337(45)
総計		228(59)	398(50)	0(0)	1682(221)	863(125)	472(50)	98(13)	167(12)	3908(530)
		5.83	10.18	0(0)	43.04	22.08	12.08	2.51	4.72	100

数字は延べ人員（ ）内は実利用者数

## ⑤ 行事報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
毎月	誕生会	全員	誕生者の紹介 誕生カードの贈呈	
7/9～15 (月～金)	屋外食	参加者 42名	デイサービス静養室	感染予防対策で密にならないように間隔をあけ座席を設置したが、問題なく楽しんで頂け室内で行ったが移動もスムーズでよかった。また、普段あまり召し上がらない方も「みんな一緒に食べるとおいしい」とたくさん召し上がってる方も多かった。
8/25.26 (火・水)	デザート屋台	参加者 35名	屋台にてかき氷を提供・夏の雰囲気味わっていただく	感染予防の為、ビニールシートを使用した。屋台で作るかき氷の工程が利用者から見え辛かったものの、美味しいとお替りもされ好評だった
8/27 (木)	お楽しみランチ	参加者 16名	レストランとんでんよりお寿司をテイクアウトし食べて頂く	お寿司を食べたいと利用者の希望が多く実施。すしネタなども変更でき詰まりなどが無いよう対象者には半分に切り提供。利用者だけではなく、ご家族からの喜びの声も聞かれていた
9/14～16 (月～水)	敬老祝賀会	利用者全員	対象者に花束とプレゼントの贈呈・DVD鑑賞	お祝いのメッセージと写真を額に入れプレゼントしたがとても喜ばれ DVD 鑑賞も笑い声がでて楽しまれていた

月 日	行事名	参加者	内 容	反省・特記事項
10/12 (月)	デザート 屋台	参加者 18 名	屋台にて焼きたての 大学芋とスイートポ テトで味覚の秋を楽 しんで頂く	食べ物の提供の仕方に関して、利用しにわかり 辛い点があったため、マイクでの説明・回る順 番がわかるよう配慮が必要であった。利用者み んな楽しんでいた。
11/19 (木)	デザート 屋台	参加者 10 名	芋餅チーズボールと 南瓜団子を目の前で 焼き出来立てを味わ っていただく	タレのあるデザートの場合、2か所に設置すると 人数が増えても混雑しにくく屋台を回る導線を 予め決め混雑回避ができた。皆さんから好評で あった。
12/24.25 (木・金)	クリス マス会	利用者全員	ビンゴ大会・余興	食事の提供をランチマットからお膳に変更したこ とにより箸を落とす方もいなく配膳もスムーズ に行えた。利用者の状態によっては、プレート では食べづらそうな方もいるため個別の対応が 必要。2日間職員2グループに分かれ違う余興を 披露したが盛り上がり楽しんでいた。利用者 のカラオケも楽しまれてはいたが暗めの曲の選 択の方が多く明るめの曲もお勧めできればよか った
1/4~6 (月~水)	新 春 茶話会	利用者全員	新春の祝い、餅つき 茶話会	殆どの方が、お餅をつき記念撮影されている。 提供したお汁粉も美味しいと好評であった。職 員の役割分担がされていなく手間取ってしまう ため役割を予め決める必要があった。職員の顔 写真での神経衰弱はとても盛り上がり楽しまれ ていた。
2/2 (火)	節分	利用者全員	節分の由来・豆まき ゲーム	節分らしい BGM を取り入れることで季節感のあ る雰囲気づくりができ、節分の説明や由来につ いて利用者の反応もよく関心があるように聞か れていた。感染予防の為、2列になり豆まきを実 施。鬼も回りやすくスムーズに行えた。
2/15 (月)	デザート 屋台	利用者全員	マシュマロバナナチ ョコケーキ・ごはんせ んべいを各々屋台に 取りに来て頂き、焼き たてを味わって頂く	おやつが出来上がりまでに時間がかかりすぎて しまったため、当日の事前準備を早めておく必 要があった。提供したデザートは、美味しいと 好評であった。
3/3 (金)	ひな祭り	利用者全員	桜餅作り・雛人形の説 明・歌の合唱	感染予防の為、各自で桜餅を作っていたいただ いたが久しぶりのおやつ作りを楽しんでいた。雛 人形の説明も興味を持たれ利用者同士の会話も 弾み楽しんで頂けた。
3/17 (水)	デザート 屋台	利用者全員	餃子の皮で作ったフ ルーツ大福と抹茶を 点て和のスイーツを 味わっていただく	事前に殆どの大福を作ってしまったため屋台で 作る工程をお見せすることが出来なかった。大 福や抹茶をお替りされる方もいて好評であった
3/22.23 (月・火)	オニオン ピック	利用者全員	紅白に分かれ、五輪バ スケット・キックカー リング	バスケットの高さなど利用者が楽しめるよう調 整し実施することができた。優勝チームには賞 状を用意し皆さんに大変喜んでいただけた。

## ⑥ 曜日別稼働率 (%)

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:人)

曜日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
月	57.0	55.0	57.0	65.0	59.0	59.0	57.0	45.0	38.0	38.0	39.0	42.0	51.0
火	61.0	43.0	61.0	68.0	63.0	64.0	63.0	53.0	52.0	53.0	58.0	67.0	59.0
水	50.0	48.0	51.0	48.0	44.0	47.0	49.0	41.0	37.0	34.0	38.0	45.0	44.0
木	55.0	50.0	53.0	53.0	49.0	54.0	53.0	38.0	45.0	38.0	45.0	47.0	48.0
金	49.0	47.0	58.0	55.0	58.0	55.0	60.0	49.0	46.0	41.0	43.0	52.0	51.0
合計	54.0	49.0	56.0	58.0	55.0	56.0	56.0	45.0	44.0	41.0	45.0	51.0	51.0

※ 数字は一般(介護予防も含む)合計の稼働率(=x/30名×100%)

## ⑦ 地域別利用者状況 令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:人)

区	利用者数	割合
北区	59	96.7
東区	2	3.3
合計	61	100

※ 利用者数は年度内に1回以上利用した利用者の現住所

## 2) 居宅介護室

## ・居宅介護支援事業所

## (1) 処遇方針について

介護保険の基本理念を踏まえ、法令を遵守し制度改定やインフォーマルサービス等の情報収集を適宜行い周知し、利用者の状況・意向を十分に把握し介護予防・自立支援を目指し、公正中立な立場でケアプラン作成を行った。相談対応を迅速に行い、支援につなげることで地域に貢献できるよう努めた。

## (2) 年間目標について

- a 年間実績は、入院・入所などによる廃止が多くみられたが、新型コロナウイルス感染対策による休止中の方もいたため、新規契約件数が廃止件数を上回り合計件数は増加となったが、目標としている稼働実績については達成する事ができなかった。
- b 利用者の相談内容に応じ包括支援センターや行政など他機関と連携を取り支援することに努めた。
- c アンケート調査結果においては見直しや改善する点があった場合は検討し改善に努める事が出来た。ケアマネ会議内でのケース検討実施の他、必要に応じて随時ケース検討を実施した。
- d 新型コロナウイルス感染対策により集合した研修が中止となり、オンライン・ZOOMを用いた研修に参加する事が出来た。
- e 同じ方面の訪問時の乗合いや徒歩での移動、用紙の両面使用や電気を細めに消す等、経費節減に努めた。

## (3) 年間計画について

- a 地域や他機関から寄せられる相談は積極的に受け、入院・入所等で終了となるケースや新型コロナウイルス感染対策により休止されるケースもあり全体的に数字を延ばす事が出来なかった。新規契約の件数が上回ったものの目標の稼働数に達成することができなかった。

- b 地域包括支援センターや、医療・行政機関等との連携を図り、要支援・要介護状態にある相談者を、予防・支援の両面からサポートできた。又、新しくリーフレットを作成し、病院や包括支援センター等への案内や相談があった際には介護保険制度の啓蒙活動を行った。
- c アンケート調査は予定通り行なえた。ケアマネ会議は定期的実施し、業務・処遇改善やケース検討に努めた。
- d 日々の業務については各自、記録管理など確実にを行うことを心がけた。新型コロナウイルス感染対策により集合研修は少なく、ZOOMを活用した研修に各自参加し制度の理解や資質向上に努めた。また特定事業所加算算定における、他法人との事例検討会や包括での事例検討会を ZOOM を活用し行い、他居宅との連携や知識等を深める事に努めた。
- e 自転車・徒歩での移動や、車の乗り合い、用紙の両面活用、節電を各自心がけた。今後も継続し、節電・節約を意識しながら業務にあたるよう努める。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:件)

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
ヒヤリ苦情	0	対応の不備・確認不足	0
合計	0	合計	0

(6) 利用状況

① 要介護度別利用人数

令和2年4月1日～令和3年3月31日(単位:人)

月	区分	要支援			要介護							合計
		1	2	計	経過	1	2	3	4	5	計	
4	実人数	17	23	40(20)	0	49	34	6	9	3	101	141(121)
5	実人数	16	23	39(19.5)	0	50	34	6	7	2	99	138(118.5)
6	実人数	16	24	40(20)	0	51	34	6	8	2	101	141(121)
7	実人数	17	23	40(20)	0	51	34	7	8	2	102	142(122)
8	実人数	19	23	42(21)	0	52	32	8	12	2	106	148(127)
9	実人数	21	32	53(26.5)	0	52	31	8	11	2	104	157(130.5)
10	実人数	21	32	53(26.5)	0	54	34	8	10	4	110	163(136.5)
11	実人数	22	31	53(26.5)	0	55	29	8	11	3	106	159(132.5)
12	実人数	19	30	49(24.5)	0	56	28	8	11	3	106	155(130.5)
1	実人数	21	29	50(25)	0	58	26	8	10	3	105	155(130)
2	実人数	21	27	48(24)	0	59	29	8	12	4	112	160(136)
3	実人数	21	26	47(23.5)	0	59	26	9	12	3	109	153(129.5)
計	実人数	231	323	554(277)	0	646	371	90	121	33	1261	1815(1488)

## ② サービス別利用件数

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

サービス種別	事業所件数	利用者数（延べ）	利用者数（実）	利用率
訪問介護	8 事業所	284 名	276 名	12.9 %
訪問入浴	1 事業所	18 名	18 名	0.8 %
訪問看護	15 事業所	193 名	192 名	9.0 %
訪問リハビリ	3 事業所	65 名	65 名	3.0 %
通所介護	23 事業所	561 名	542 名	25.4 %
認知症通所介護	1 事業所	2 名	2 名	0.1 %
地域密着通所介護	4 事業所	78 名	78 名	3.7 %
通所リハビリ	5 事業所	102 名	102 名	4.8 %
福祉用具貸与	18 事業所	613 名	612 名	28.7 %
短期入所介護	7 事業所	207 名	206 名	9.7 %
短期入所療養	2 事業所	10 名	10 名	0.5 %
小規模居宅介護	2 事業所	2 名	2 名	0.1 %
定期巡回訪介看	3 事業所	28 名	28 名	1.3 %
合計	92 事業所	2,163 名	2,133 名	100.0 %

## ・介護予防センター百合が原

## (1) 処遇方針について

・高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域のニーズや特性を把握し、効果的な介護予防活動を提供する。また、地域に対する介護予防の普及啓発を進め、介護予防センターと地域のつながりを強化し、気軽に相談ができるネットワークの構築を確立するとともに、住民主体の介護予防活動を広げるため、キーパーソンの支援や住民の持っている力を引き出し、動機付けるための支援体制を整える。

## (2) 処遇目標について

## ① 総合相談支援業務について

年間相談件数は255件あり、昨年度より62件増加した。相談内容の内訳は、昨年度と比較すると「ご自身の心身の健康に関する相談」が2.4倍増加しており、閉じこもり状態によるフレイルやコロナ鬱症状の訴えから、地域包括支援センターへ連携した件数は22件あった。このことから、介護予防センターが地域の一番身近な相談窓口として、浸透してきたと考えられる。今年度もフレイル予防を目的とした介護予防活動の推進を強化し、閉じこもり状態によるフレイルや何らかの支援を要する高齢者を、地域住民と連携し把握できるような支援体制を構築する。

## ② 介護予防事業・地域福祉活動支援事業について

- ・介護予防教室の開催時には、感染症予防対策を強化した上で、安全に教室を運営することができた。
- ・サロンや老人クラブの代表者の方より、『コロナ禍で、どのようにサロン活動を再開したらよいのか』『感染対策はどのように行えばよいのか』等の相談が多く寄せられた。その都度、活動内容や感染対策について打ち合わせを実施し、支援を行った。
- ・今年度、コロナ禍に対応できる介護予防活動取組の一環として、介護予防センター屯田と共催で『はつらつ体操 ZOOM 倶楽部』を開催することができた。また、ご自宅にPCやインターネット環境がない方も参加ができるような仕組み作りを行い、太平百合が原地区会館にてサテライト教室の立ち上げを実施したその結果、太平百合が原・麻生地区より合計17名の方が『はつらつ体操 ZOOM 倶楽部』を活用し、ご自宅で健康づくりを実施している。

(3) 年間計画について

・コロナ禍でも、すこやか倶楽部は年間 19 回開催することができた。また、地域支援活動についても、活動を中止している団体も多い中、年間 51 回の支援を実施することができた。しかし、当初予定していた地区地域ケア会議については、麻生地区・太平百原が原地区ともに、開催することができなかった。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

該当なし

(6) 相談事業報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(ア) 相談件数

相談経路	電話	訪問	面接	その他	合計
①本人	95件	1件	0件	29件	125件
②家族・親戚	17件	0件	0件	3件	20件
③知人・近隣住民	10件	0件	0件	5件	15件
④介護支援専門員	0件	0件	0件	0件	0件
⑤介護保険サービス事業所	0件	0件	0件	0件	0件
⑥民生委員	2件	0件	0件	0件	2件
⑦福祉のまち推進委員	16件	0件	0件	8件	24件
⑧町内会	18件	0件	0件	8件	26件
⑨医療機関	2件	0件	0件	0件	2件
⑩行政機関	1件	0件	0件	0件	1件
⑪地域包括支援センター	2件	0件	0件	0件	2件
⑫その他	28件	0件	0件	10件	38件
合計	191件	1件	0件	63件	255件

(イ) 相談内容（重複項目あり）

相談内容	件数
① 介護保険サービスの利用希望	30件
② 介護保険制度（①以外）	3件
③ 介護予防	43件
④ 保健福祉サービス	6件
⑤ 高齢者虐待に関する事	0件
⑥ 消費者被害に関する事	1件
⑦ 権利擁護	0件
⑧ 認知症に関する事	23件
⑨ 心身の健康に関する事	78件
⑩ 家族の疾病・障がいに関する事	3件
⑪ 医療に関する事	10件
⑫ 住まいに関する事	4件
⑬ 処遇困難	0件
⑭ 苦情	2件
⑮ その他	124件

(ウ) 相談結果

相談内容	件数
①実態把握訪問	3件
②介護予防教室に参加	12件
③地域介護予防活動に参加	0件
④介護保険申請	0件
⑤地域包括支援センター紹介	23件
⑥関係機関紹介	2件
⑦終結	215件

(7) 介護予防事業報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

①すこやか倶楽部

(ア) 太平・百合が原地区

開催日		場 所	内 容	人 数
4月	14日（火）	商工なかよし館	検診の必要性について	開催中止
	20日（月）	内外太平会館	検診の必要性について	開催中止
5月	12日（火）	商工なかよし館	体操・室内レクリエーション	開催中止
	18日（月）	内外太平会館	室内体操&レクリエーション	開催中止
6月	23日（火）	商工なかよし館	ラジオ体操・ストレッチ体操等	23名
	29日（月）	内外太平会館	皆勤賞表彰・ストレッチ体操等	26名
7月	14日（火）	商工なかよし館	はつらつ体操・脳トレ・お口体操等	22名
	20日（月）	内外太平会館	はつらつ体操・脳トレ・早口言葉等	21名
8月	11日（火）	商工なかよし館	体操・脳トレ・手洗いダンス等	24名
	17日（月）	内外太平会館	ラジオ体操・体操・脳トレ	23名
9月	8日（火）	商工なかよし館	ラジオ体操・はつらつ体操・脳トレ等	24名
	14日（月）	内外太平会館	はつらつ体操・ケンステップ等	27名
10月	13日（火）	商工なかよし館	体力測定会	20名
	19日（月）	内外太平会館	体力測定会	27名
11月	10日（火）	商工なかよし館	認知症の理解について	開催中止
	16日（月）	内外太平会館	認知症の理解について	開催中止
12月	8日（火）	商工なかよし館	リズムファンタジー	開催中止
	21日（月）	内外太平会館	リズムファンタジー	開催中止
1月	12日（火）	商工なかよし館	高齢者の住まいについて	開催中止
	18日（月）	内外太平会館	高齢者の住まいについて	開催中止
2月	9日（火）	商工なかよし館	体操&室内レクリエーション	開催中止
	15日（月）	内外太平会館	楽しく食育を学ぼう	開催中止
3月	9日（火）	商工なかよし館	タオル体操・脳トレ等	22名
	15日（月）	内外太平会館	タオル体操・脳トレ等	19名
合計				278名

(イ) 麻生地区

開催日		場 所	内 容	人 数
4月	10日（金）	麻生地区会館	検診の必要性について	開催中止
	24日（金）		知っておこう！介護保険	開催中止
5月	8日（金）	麻生地区会館	ふまねっと運動&室内レク	開催中止
	22日（金）		体操&室内レクリエーション	開催中止
6月	12日（金）	麻生地区会館	皆勤賞表彰・ストレッチ体操・手洗いダンス・オリエンテーション	開催中止
	26日（金）			36名
7月	10日（金）	麻生地区会館	口の体操・はつらつ簡単体操・手洗いダンス等	22名
	31日（金）			21名

8月	7日(金)	麻生地区会館	知っておこう!睡眠について・指体操	14名
	28日(金)			20名
9月	11日(金)	麻生地区会館	準備体操・指体操・ケンステップ 脳トレ・ストレッチと筋トレ	16名
	25日(金)			19名
10月	9日(金)	麻生地区会館	体力測定会	18名
	23日(金)			19名
11月	13日(金)	麻生地区会館	ガンバルーン体操 ふまねっと運動&室内レク	開催中止
	27日(金)			開催中止
12月	11日(金)	麻生地区会館	クリスマス会(リズムファンタジー) 体操&レクリエーション	開催中止
	25日(金)			開催中止
1月	8日(金)	麻生地区会館	高齢者の住まいについて ロコモ体操	開催中止
	22日(金)			開催中止
2月	12日(金)	麻生地区会館	化粧セラピー体験 はつらつ体操・脳トレ	開催中止
	26日(金)			14名
3月	12日(金)	麻生地区会館	タオル体操・脳トレ タオル体操・脳トレ	18名
	26日(金)			17名
合計				234名

## ② 地域福祉活動報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

支援先	主な支援内容	支援回数	参加人数
サロン: リリーラブ!元気の会	体操・脳トレ・ケンステップ	5回	38名
サロン: さわやかサロン	体操・脳トレ・公園散策・筋トレ	4回	43名
サロン: なかよしサロン	体操・脳トレ・早口言葉・ケンステップ	4回	42名
老人クラブ: 寿楽会	講話・早口言葉・手洗いダンス	1回	27名
自主G: たいゆり健康づくり教室	体操・脳トレ・講和	16回	196名
老人クラブ: 太平すずらん会	体操・脳トレ	1回	6名
サロン: サロンde旬	体操・手洗いダンス・DVD鑑賞	1回	18名
老人クラブ: 学田はまなす会	講話・感染対策説明	1回	8名
自主G: スマイルアップ体操教室	体操・脳トレ・輪投げ・ケンステップ	5回	66名
サロン: 元気UPカフェ	体操・指輪っかテスト	1回	11名
町内会: ふれあい昼食会	体操・手洗いダンス	1回	13名
町内会: ふれあい交流会	心と健康についての講話・体操	1回	24名
麻生元気塾	コロナ感染対策について	1回	38名
はつらつ体操 Zoom 倶楽部	体操・脳トレ	10回	102名

## ③ 札幌市機能強化事業

教室名	日程	場所	人数
麻生地区ロコモ体操教室	令和2年9月10日～令和2年10月29日(全5回)	SDAキリスト教会	30名

## ③ 地区地域ケア会議

日程	場所	関係機関	内容
		地区各関係者	
		地区各関係者	

#### ④【支援回数】

内 容	地域支援・地域活動回数
すこやか倶楽部	19回
地域支援（サロン・老人クラブ、町内会等）	52回
札幌市機能強化事業	1回
地区地域ケア会議	0回
北区連絡会議	5回
地区連絡会議 （太平百合が原・麻生）	10回 （大平百合が原7回、麻生3回）
合計	87回

#### ・介護予防センター屯田

##### （１）処遇方針について

年度のほぼ半年間は、新型コロナウイルスの影響により、すこやか倶楽部、域支援事業の自粛を余儀なくされたが、その間、自宅での介護予防の機会の提供として、体操DVDや脳トレCDなど作成・配布するなど広報物の発行による間接的支援を強化し、延べ1899回の支援を行っている。また、ネットを活用したオンライン体操教室を新たに開始することで、これまで体操教室等に参加したことがない住民の参加も増えつつある。活動再開時には、参加者の状況を確認しながら、感染予防対策の徹底に努めており、自主グループについても運営者を通して、介護予防に関する情報提供や感染予防対策の説明を行うなど、介護予防意識と感染予防に対する意識の醸成を図ることで出来ている。今年度については、引き続き、感染予防対策を徹底の上、参加者の状況に合わせた多様な介護予防活動の提案と、ニーズに応じた介護予防活動の機会を提供していく。

##### （２）処遇目標について

###### ①総合相談支援業務について

令和2年度の相談件数は248件で、前年度とほぼ同件数であった。相談内容では、介護予防に関する相談が133件となっており、コロナによる影響を受けて、介護予防活動の機会に関する相談や、自宅での活動内容に関する相談、老人クラブ、サロン等の代表者から感染対策に関する相談も多く寄せられた。すこやか倶楽部や地域活動者からの健康面での困りごとに関しても49件、地域包括支援センター等関係機関への連携も57件と、予防センターが地域の身近な相談窓口としての機能も浸透しつつある。今年度は、介護予防が必要にも関わらず結びついていない高齢者の受け皿として、多様な方法により普及周知を行う。

###### ②介護予防事業・地域福祉活動支援事業について

- ・介護予防教室、地域活動においては、感染予防対策の徹底と、地域活動運営者には、感染対策の方法等を助言するなど安全な地域活動を進めた。
- ・昨年度に引き続き、連町役員会や民児協定例会に参加し、介護予防センターの周知と感染対策についての周知などを行った。
- ・地区地域ケア会議を開催し、団地内の困りごとに関して、自治会内で共有し検討することが出来た。その結果、既存のサロンの普及啓発の強化や相談会を開催するなど方向性を決めることが出来ている。
- ・屯田地区3町内会で企画していた体操教室は中止となったが、健康測定イベントを行うなど、健康管理の重要性を周知することが出来た。
- ・自宅にインターネット環境がある方を対象として、介護予防センター百合が原と共催で『はつらつ体操ZOOM倶楽部』を開催し、コロナ禍でも介護予防に取り組める環境を提供した。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、すこやか倶楽部、地域福祉活動支援など計画の半分程度の実施に留まっているが、感染予防対策を行いながら、すこやか倶楽部 29 回、地域支援活動 75 回の支援を行う事が出来た。
- ・介護予防センター運営事業実施要領に基づき実施できている。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

- ・該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

- ・該当なし

(6) 相談状況

① 相談事業報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(ア) 相談件数

相談経路	電話	訪問	面接	その他	合計
①本人	63件	0件	25件	3件	91件
②家族・親戚	14件	0件	4件	0件	18件
③知人・近隣住民	8件	0件	3件	1件	12件
④介護支援専門員	1件	0件	0件	0件	1件
⑤介護保険サービス事業所	1件	0件	0件	0件	1件
⑥民生委員	4件	0件	1件	0件	5件
⑦福祉のまち推進委員	0件	0件	0件	0件	0件
⑧町内会	17件	3件	5件	1件	26件
⑨医療機関	2件	0件	0件	0件	2件
⑩行政機関	3件	0件	0件	0件	3件
⑪地域包括支援センター	6件	0件	0件	0件	6件
⑫その他	57件	2件	23件	0件	82件
合計	176件	5件	61件	5件	247件

(イ) 相談内容（重複項目あり）

相談内容	件数
①介護保険制度	13件
②介護保険制度（①以外）	26件
③介護予防	133件
④保健福祉サービス	15件
⑤高齢者虐待に関する事	4件
⑥消費者被害に関する事	1件
⑦権利擁護	0件
⑧認知症に関する事	5件
⑨心身の健康に関する事	49件
⑩家族の疾病・障がいに関する事	8件
⑪医療に関する事	9件
⑫住まいに関する事	6件
⑬処遇困難	0件
⑭苦情	1件
⑮その他	67件

(ウ) 相談結果

相談内容	件数
①実態把握訪問	3件
②介護予防教室に参加	21件
③地域介護予防活動に参加	40件
④介護保険申請	0件
⑤地域包括支援センター紹介	32件
⑥関係機関紹介	25件
⑦終結	126件

## (7) 介護予防事業報告(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## ①すこやか倶楽部(4会場)

創成の里記念会館・屯田西集会所・屯田地区センター・屯田団地会館

	開催日	場 所	内 容	人 数
4月	8日(水)	創成の里記念会館	シニアリトミック・ケンステップ・	開催中止
	9日(木)	西集会所		開催中止
	16日(木)	地区センター		開催中止
	23日(木)	団地会館		開催中止
	27日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
5月	13日(水)	創成の里記念会館	(株)明治講話	開催中止
	14日(木)	西集会所		開催中止
	21日(木)	地区センター		開催中止
	28日(木)	団地会館		開催中止
	25日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
6月	10日(水)	創成の里記念会館	認知症講座・絵手紙・健康教室	開催中止
	11日(木)	西集会所		開催中止
	18日(木)	地区センター	手洗いダンス・サッポロスマイル 体操	31名
	25日(木)	団地会館		37名
	22日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	22名
7月	8日(水)	創成の里記念会館	健康教室・栄養士講座・ 介護保険講話	31名
	9日(木)	西集会所		12名
	16日(木)	地区センター		27名
	30日(木)	団地会館		30名
	27日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	13名
8月	5日(水)	創成の里記念会館	熱中症予防講話・ケンステップ・ 感染予防講話	31名
	6日(木)	西集会所		10名
	20日(木)	地区センター		25名
	27日(木)	団地会館		37名
	24日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	11名
9月	9日(水)	創成の里記念会館	ケンステップ・ふまねっと・健康 講話	32名
	10日(木)	西集会所		12名
	17日(木)	地区センター		26名
	24日(木)	団地会館		14名
	28日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	34名
10月	8日(木)	西集会所	認知症サポーター養成講座・ 口腔講話	14名
	14日(水)	創成の里記念会館		37名
	15日(木)	地区センター		22名
	22日(木)	団地会館		13名
	26日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	31名
11月	11日(水)	創成の里記念会館	体力測定会	開催中止
	12日(木)	西集会所		開催中止
	19日(木)	地区センター		開催中止
	26日(木)	団地会館		開催中止
	30日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止

12月	3日(木)	地区センター	音楽を楽しむ会	開催中止
	9日(水)	創成の里記念会館		開催中止
	10日(木)	西集会所		開催中止
	17日(木)	団地会館		開催中止
	21日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
1月	13日(水)	創成の里記念会館	ふまねっと・口腔講話 サッポロスマイル体操	開催中止
	14日(木)	西集会所		開催中止
	21日(木)	地区センター		開催中止
	28日(木)	団地会館		開催中止
	25日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
2月	4日(木)	西集会所	はつらつ体操・ふまねっと	開催中止
	10日(水)	創成の里記念会館		開催中止
	18日(木)	地区センター		開催中止
	25日(木)	団地会館		15名
	22日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
3月	10日(水)	創成の里記念会館	はつらつ体操・脳トレ・タオル体操	28名
	11日(木)	西集会所		18名
	18日(木)	地区センター		24名
	25日(木)	団地会館		13名
	22日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	37名
合計				687名

② 地域福祉活動報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

支援先	主な支援内容	支援回数	参加人数
いけいけスマイルサロン	はつらつ体操・スマイル体操・ケンステップ	9回	46名
拓友会	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	2回	18名
スマレクラブ	はつらつ体操・スマイル体操・レク	6回	59名
ひまわり体操クラブ	はつらつ体操・スマイル体操・早口言葉	17回	150名
みずほ西公園サロン	はつらつ体操・スマイル体操・早口言葉	4回	25名
睦美会	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	1回	23名
すこやか体操教室	包括講話・はつらつ体操	1回	13名
七色の風クラブ	はつらつ体操・スマイル体操	6回	51名
花園クラブ	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	16回	142名
はつらつ体操修了者支援	体操・ふまねっと・脳トレ	3回	21名
はつらつ体操 Zoom 倶楽部	体操・脳トレ	10回	66名

③札幌市機能強化事業

教室名	日程	場所	人数
はつらつシニア元気アップ！ サポーター講座	令和2年10月30日(1回)	屯田福祉会館	19名

④地区地域ケア会議

日程	場所	関係機関	内容
3月16日(火)	季実の里B団地集会室	屯田まちセン・保健支援係・第3包括・季実の里自治会	屯田地区地域ケア会議

## 【支援回数】

内 容	地域支援・地域活動回数
すこやか倶楽部	26回
地域支援（サロン・老人クラブ、町内会等）	75回
札幌市機能強化事業	1回
地区地域ケア会議	1回
北区連絡会議	4回
地区連絡会議	6回
合計	113回

## 4 地域交流事業

### （1）方針について

今年度も定着しているリラクゼーションスペースとしての機能を継続し、マッサージ器3台設置と共にゆったりとして頂けるスペース作りを目指した。

リハビリテイメントマシンの「ワニワニパニック」・「太鼓の達人」・「どきどきへび退治」は、リハビリ麻雀・パチンコ・スロット、ビリヤードなどのリハビリ機器と共に、特養やグループホームの皆様にも娯楽やリハビリ、ご家族の中にも面会時に楽しまれる様子も見受けられた。

その他スペースの有効利用として、昨年同様、音楽療法や幼稚園交流会、又、フラワーアレンジメント教室の場として日々活用も継続している。

又、機能訓練スペースとして、肋木や滑車、平行棒、エアロバイクなどのリハビリ器具も継続して利用して頂いた。

売店の販売品目の中にデイサービスの利用者様から要望があった「菓子」は好評で、買い物を楽しんで頂いている。

今後も喫茶・売店を含め、入居者・利用者もちろん、皆様に気軽にリハビリや娯楽に利用し楽しんでいただくことで、皆様のコミュニケーション、介護予防に繋がるスペースとして活用して頂きたい。

## 5 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

### （1）処遇方針について

- ・今まで生活してきた暮らしを基本に考え入居者様が安らぎを持って生活が送れるよう支援した。
- ・日常生活の中で役割や楽しみを持って生活して頂けるよう毎日の体操で体を動かす機会を作る事が出来たが、新型コロナウイルスで外への散歩に行き事ができなかった。
- ・家庭で生活している様な雰囲気を中心掛り食事の盛り付け、食器等に配慮し季節感のある飾りつけや行事を行った。
- ・安全なケアを中心掛けていたが、事故や不適切なケアがみられた。

### （2）年間目標について

- ① 認知症があっても心身共に安心した生活を送れる様な関りを心掛け健康的に生活が送れる様に支援した。
- ② 個々の残存機能を生かし認知症の改善や進行緩和に努めた。
- ③ 入居者様の特変やいつもと違った様子に気付けるように普段より入居者様の状況把握に努め特変時には直ぐに受診し、いつまでも施設での生活が送れる様に支援した。
- ④ 日々の様子や特変事項を明確に記録し、御家族様、職員間での情報共有に努めたが不十分な点もみられた。
- ⑤ ご家族様・入居者の意思を尊重し個々にあったケアプラン作成し、統一したケアを提供できるよう努めた。

ケアプランチェックを行い支援を行った。

- ⑥ 新型コロナウイルスで施設外の研修は無く施設内の研修については積極的に参加した。
- ⑦ 新型コロナウイルスで運営推進会議は書面にて、行事等も実施出来なく交流の機会をつくる事が出来なかった。
- ⑧ 入所待機者確保の為に内部・外部からの情報収集を行う様に心掛けたが急な退所等もあり空床の期間も長くなり稼働率低下を最小限に抑える事が出来なかった。

(3) 年間計画

・概ね計画通り実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和3年3月31日現在 (単位: 件)

実施月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施 件数	かっこう	4	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	3	12
	ゆり	1	0	1	0	0	2	0	1	1	1	1	2	10

(5) 事故・ヒヤリ事故報2

① 件数報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位: 件)

分類別事故報告	かっこう	ゆり	発生状況別事故件数	かっこう	ゆり
転倒・転落	1	1	介助中	1	3
ヒヤリ転倒・転落	9	1	臥床中	0	0
誤薬	2	1	自立動作中	19	0
傷・痣	9	6	その他・不明	17	13
ヒヤリ行方不明	1	0			
むせ・つまり	13	1			
その他	2	6			
合計	37	16	合計	37	16

② 内容・結果報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結果
R2/ 5	入居者	ゆり	日遅でセットした朝食後薬を夜勤者も日早も間違えに気付かず朝食時に昼食前と昼食後薬を与薬してしまった。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/ 6	入居者	ゆり	起床後、洗面所にて手を洗って頂こうとした際、右手甲に表皮剝離と変色を発見する。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/ 9	入居者	ゆり	食事を勧める際に食べる事を強要し本人怯えている様子があった。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/ 9	入居者	ゆり	パジャマのボタンを留める事を出来るまで大きな声で強要した。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/ 9	入居者	ゆり	ふざけて入居者様の膝の上に座り「重たい」と訴えるのを楽しんでいた。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R2/ 9	入居者	ゆり	ふざけて入居者様の膝の上に座り「重たい」と訴えるのを楽しんでいた。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無

日時	事故対象者		事故内容	結果
R2/ 9	入居者	ゆり	就寝後、何度か起きようとされた時に「寝ろや」と暴言を大きな声で言った。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R2/ 10	入居者	かっこう	居室にて転倒されており第3腰椎圧迫骨折される。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/ 2	入居者	かっこう	夕食後薬をセットする際、薬が外れているのに気付かず与薬してしまう。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/ 2	入居者	かっこう	薬セットの際追加の薬を薬ケースに入っている薬に追加したが薬箱に入っている薬に気付かず与薬してしまった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/ 3	入居者	ゆり	ベットにてパット後、ベットから車椅子に移乗する際、転倒される。右眉裂傷され5針縫合される。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

(単位：件)

分類別苦情相談件数	かっこう	ゆり	合計内容別苦情相談件数	かっこう	ゆり
苦情	0	0	ケアの内容	0	0
ヒヤリ苦情	0	0	施設のハード	0	0
相談	0	0	職員の対応	1	2
要望	0	0	その他	0	0
ヒヤリトラブル	1	2			
合計	1	2	合計	1	2

② 苦情内容・結果報告

苦情申し出者	申し出内容	結果
		第三者報告 有・無 未解決・解決

(7) 利用者状況

① 在所者状況

令和3年3月31日現在

在所者	2名	男性	16名	女性	合計	18名
-----	----	----	-----	----	----	-----

② 入居者年齢構成

令和3年3月31日現在 (単位：人)

年齢	64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95以上	計
性別									
男性	0	0	0	0	0	2	0	0	2
女性	0	1	0	0	1	5	9	0	16
計	0	1	0	0	1	7	9	0	18
率	0%	5.5%	0.0%	0%	5.5%	38.5%	49.5%	0%	100%
最高年齢	94歳7ヶ月		最小年齢	69歳1ヶ月		平均年齢		88歳5ヶ月	

② 入所前居所

令和3年3月31日現在（単位：人）

居所 性別	居 宅	介護福祉 施設	介護保健 施設	介護療養 施設	医療機関	社会福祉 施設	その他	計
女	8	0	3	0	2	2	1	16
計	9	0	4	0	2	2	1	18

⑧ 要介護度別利用状況

令和3年3月31日現在（単位：人）

性別	要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		計		合計	平均 介護度
	かっ こう	ゆり												
男	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	3.5
女	2	0	3	3	2	0	1	4	0	1	8	8	16	2.8
計	2	0	3	3	2	1	2	4	0	1	9	9	18	3.15

⑤心身の状況

令和3年3月31日現在（単位：人）

認知症自立度		寝たきり度判定基準					計
		自立	ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	
認知症自立度 判定基準	ランクI	0	0	0	0	0	0
	ランクII	0	0	5	1	0	6
	ランクIII	0	0	3	3	0	6
	ランクIV	0	0	3	1	0	4
	ランクM	0	0	1	0	1	2
計		0	0	12	5	1	18

⑥ 月別入居状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

性別	月												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
女	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5
計	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	7

⑨ 入居者の動向

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

年 月	定 員	入 所	退所・退所理由			月末人員
			死亡	長期入院	その他	
2年4月	18	1	1	1	0	17
5月	18	1	0	1	0	17
6月	18	1	0	0	0	17
7月	18	0	1	0	0	16
8月	18	0	0	0	0	18

年 月	定 員	入 所	退所・退所理由			月末人員
			死亡	長期入院	その他	
9月	18	1	0	0	0	18
10月	18	0	1	0	0	16
11月	18	1	0	0	0	18
12月	18	0	0	0	0	17
3年1月	18	0	0	1	0	16
2月	18	1	0	1	1	17
3月	18	1	0	0	0	18
<b>計</b>	<b>216</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>205</b>

⑩ 施設在所期間

令和3年3月31日現在（単位：人）

在所期間 性別	6ヶ月 以内	6ヶ月～ 1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 10年未満	10年 以上	計	平均 在所期間
	男	1	0	1	0	0	0		
女	2	2	4	5	0	3	0	16	4年7ヶ月
計	3	2	5	5	0	3	0	18	
<b>最 大 在所期間</b>	<b>9年10ヶ月</b>		<b>最小在所期間</b>		<b>1ヶ月未満</b>		<b>平均在所期間</b>		<b>3年2ヶ月</b>

⑪ 入居者のADL状況

令和3年3月31日現在（単位：人）

	区 分		かっこう	ゆ り	合 計
歩 行	自 立 歩 行		4	1	5
	歩行補助具使用し(杖、歩行器・手押し車)自立		1	0	1
	手引き・歩行器具使用し介助		0	2	2
	車椅子使用	自 立	0	0	0
要 介 助		4	6	10	
食 事	自 立		7	6	13
	一 部 介 助		1	1	2
	全 介 助		1	2	3
入 浴	状 態	自 立	0	0	0
		一 部 介 助	7	4	11
		全 介 助	2	5	7
	形 態	一 般 浴	0	0	0
		介 助 浴	9	9	18
		特 浴	0	0	0
着 脱	自 立		2	1	3
	一 部 介 助		6	4	10
	全 介 助		1	4	5

排	昼	トイレ使用	自 立	4	1	5
			車いす使用	3	5	8
			誘 導	1	2	3
	間	便器使用	自 立	4	5	9
			介 助	4	3	7
	おむつ使用（簡易おむつを含む）			7	8	15
泄	夜	トイレ使用	自 立	3	1	4
			車いす使用	3	3	6
			誘 導	2	4	6
	間	便器使用 (ホータブル含)	自 立	3	4	7
			介 助	5	0	5
	おむつ使用（簡易おむつを含む）			8	8	16
整 容	自 立			3	1	4
	一 部 介 助			5	5	10
	全 介 助			1	3	4

※歩行・移動、排泄について重複あり

⑫ 月別入退院者状況

令和3年3月31日現在（単位：人）

入・通院	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
	入院者数	1	2	1	1	0	0	1	0	1	2	0	0	9
退院者数	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4

⑬ 入院・通院状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

病院名	主な科目	通院者	入院者	病院名	主な科目	通院者	入院者
東徳洲会病院	内 科	1	0	札幌北脳神経外科	脳外科	1	
	循環器科			麻生脳神経外科	脳外科	3	1
	外 科			我汝会札幌病院	整形外科	1	
	整形外科			市立札幌病院	整形外科	2	1
札幌百合の会病院	内 科	506	4	東徳洲会病院	脳外科		1
	泌尿器科			五稜会病院	精神科	55	
	眼 科			新川新道整形外科	整形外科	4	
	整形外科	114		太平眼科	眼科	2	
				新川まえだ眼科	眼科	4	
北海道泌尿器科	泌尿器科	2		北海道大学病院	内科	1	
J R病院	心臓	3		札幌医科大学	眼科	3	
太平高山クリニック	内 科			麻生ハート	内 科	3	
札幌道都病院	内 科	2	2	新道東フレンド整形	整形外科		
	外 科			川嶋泌尿器科	泌尿器		
小林皮膚科	皮膚科	86		北光記念病院	心臓血管科		
楨心会病院	脳外科	2		勤医協中央病院	整形外科		
日の出歯科	歯 科	12		合 計		807	9

※ 入院理由内訳 ・内科/肺炎・尿路感染症 脳外科/・脳梗塞 整形外科/骨折

## ⑭ 診療科別入通院状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

月	科 区分	内 科	外 科	整 形 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	循 環 器 科	脳 外 科	婦 人 科	精 神 科	耳 鼻 科	眼 科	歯 科	そ の 他	計	
4	入 院	1														1
	通 院	45		12	11			1		3						71
5	入 院	1						1								2
	通 院	35		9						2			1			47
6	入 院	1														1
	通 院	43		10	1			1		3		1	3			62
7	入 院	1														1
	通 院	46		12	10					4			6	1		79
8	入 院															0
	通 院	38		12	10					3			1			64
9	入 院															0
	通 院	47		20	10	1		3		5						86
10	入 院			1												1
	通 院	49		16	10	1				5				1		82
11	入 院															0
	通 院	38		4						1		1				44
12	入 院	1														1
	通 院	46		7	8			1		10						72
1	入 院							1								0
	通 院	38		6	10					8		1				63
2	入 院	0														0
	通 院	38		7	6					6		2	1			60
3	入 院	1						1								1
	通 院	51		6	10			1		5		3		1		77
入 院 計		6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0		9
通 院 計		514	0	121	86	2	0	6	0	55	0	8	12	3		807

## ⑮ ボランアの受入れ状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：件）

区 分	内 容	前年度実績	年間件数	主 な 団 体 名
技術奉仕	縫い物など	①有・無	0	ひまわりクラブ
作業奉仕	シーツ交換・食事配膳他	有・無	0	
介助奉仕	行事手伝い・移動介助・クラブ活動 手伝い他	有・無	0	
指導奉仕	なし	有・無	0	
そ の 他	話し相手他	有・無	0	

## ⑯ クラブ活動状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（1回平均・単位：人）

クラブ名	参加人員			指導者等	開催状況
	ゆり	かっこう	計		
フラワーアレンジメント教室	1	3	8	フラワーひまわり 野宮 徳一氏	月1回（水）
音楽療法	9	9	18	音楽療法士 上田 氏	週1回（金）PM

## ⑰ 要介護度別稼働状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（1回平均・単位：人）

介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	16
	計	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	16
要介護2	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	5	5	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	70
	計	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	71
要介護3	男	1	1	1	1	2	2	2	0	0	0	0	1	11
	女	0	0	1	1	2	2	2	2	3	3	3	2	21
	計	1	1	2	2	4	4	4	2	3	3	3	3	32
要介護4	男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
	女	7	7	4	6	5	5	5	5	5	5	5	5	64
	計	7	7	4	6	5	5	5	6	6	6	6	6	69
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
	計	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
総合計	男	2 (60)	1 (31)	1 (30)	1 (31)	2 (62)	2 (60)	2 (62)	1 (30)	1 (31)	1 (31)	1 (528)	2 (62)	17 (518)
	女	16 (480)	16 (496)	17 (510)	17 (527)	16 (496)	16 (480)	16 (496)	17 (510)	17 (527)	17 (527)	17 (476)	16 (496)	198 (6021)
	合計	18 (540)	17 (527)	18 (540)	18 (558)	18 (558)	18 (540)	18 (558)	18 (540)	18 (558)	18 (558)	18 (504)	18 (558)	215 (6539)
	稼働率	93.33	89.06	97.39	94.22	90.11	100.0	97.11	98.33	99.61	94.09	91.57	98.21	95.25%

※数字は延べ人員（ ）内は実利用者数

## ⑱ 行事報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
4月28日 （火）	4月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお 祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余 興中止
5月6日 （水）	こどもの日 （端午の節 句）	両ユニット	日本の伝統行事である子供 の日をお祝いし楽しんで頂 く	・ゲームは鯉のぼり玉入れゲームを行い 楽しまれていた様子でした。

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
6月18日 (木)	6月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットでお食事会をする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
7月28日 (火)	7月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
7月31日 (金)	野外食	両ユニット	運営推進会議後、各ユニットにてジンギスカンを焼いて召し上がって頂き食後にはすいかの提供を行った。	・ユニット内にて開催しました。皆さんにジンギスカンを焼いている所をご覧頂きながら賑やかに過ごされ食事を楽しまれて頂いた様子でした。
8月1日 (土)	夏祭り	両ユニット	施設内 1F デイルームにて盆踊りやヨーヨー釣り、輪投げ、缶釣りに参加される。	ヨーヨー釣り等馴染みのあるゲームで皆さん楽しまれていました。アイス・わたあめ等召し上がり「おいしかった」と喜ばれていました。
8月7日 (金)	七夕	両ユニット	各ユニットにて七夕の由来を説明後、七夕さまの歌を合唱しゲームを行った。	・七夕玉入れゲームを行い皆さん真剣にボールを転がして穴をねらっていました。短冊の願い事を読んで頂く事で七夕の雰囲気・季節感を味わって頂いた様子でした。
8月14日 (金)	8月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
9月15日 (火)	9月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
9月19日 (土)	敬老祝賀会	両ユニット	米寿1名 記念撮影、お祝いの品を贈呈する。食事会后、両ユニットで歌の合唱とゲームを行った。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止 両ユニットで、玉入れゲーム合戦を行い、「楽しかった」と喜んで頂いた様子でした。
10月22日 (木)	10月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
11月16日 (月)	11月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットにてお食事会をする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
12月18日 (金)	12月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
12月25日 (金)	クリスマス会	両ユニット	各ユニットにてサンタクロスボーリングゲーム、きよしこの夜、ジングルベルの歌の合唱をする。	・ローストチキンは柔らかく大変好評でした。ゲームは歓声上がり盛り上がりしていた。新型コロナウイルス感染症防止の為、恒例のちびっ子サンタ登場は中止となったが、クリスマスプレゼントを喜んで頂いた様子でした。
1月12日 (火)	1月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
1月30日 (土)	もちつき	両ユニット	運営推進会議終了後、かつこうユニットにて恒例行事となった餅つきを行いました	皆様、意欲的に参加されており、餅がとてもやわらかく美味しかったと好評で大変喜ばれていました。
2月2日 (火)	節分	両ユニット	・節分の由来を説明した後、歌の合唱行いお手玉投げゲームを行った。終了後鬼が登場し豆まきを行った。	鬼が登場し大いに盛り上がり豆まきに皆さん力が入った。季節の雰囲気を感じてもらえて楽しまれていた。
2月17日 (水)	2月誕生会	両ユニット	誕生者3名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
3月3日 (水)	ひなまつり	両ユニット	ひなまつりの由來說明後、「うれしいひなまつり」を合唱しゲーム行う	・ゲームでは力のない方でもボールが転がり平均的に点数が取れ盛り上がっていました。
3月22日 (月)	3月誕生会	両ユニット	誕生者3名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止

⑱ GH来訪者面会状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

月	目 的				合 計
	面 会	見 学	相 談	その他	
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0
9	0	2	0	0	2
10	0	2	0	0	2
11	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	1	0	0	1
3	0	1	0	0	1
合計	0	6	0	0	6

⑳ 運営推進会議報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日（単位：人）

実施月	開催回	実施日	実施内容	参加人数
5月	R2年度第1回	5/26	令和元年度事業報告について	6名
7月	R2年度第2回	7/31	感染症対策状況について	6名
9月	R2年度第3回	9/19	虐待について	6名
11月	R2年度第4回	11/28	不適切なケアについての経過報告とコロナウイルス感染の対応等について	6名
1月	R2年度第5回	1/30	近況報告、施設よりお知らせ	6名
3月	R2年度第6回	3/25	お客様アンケート・外部評価の結果について	4名

### Ⅲ 各委員会報告

#### 1 広報委員会

##### (1) 活動内容

- ・施設全体におけるその活動の広報、機関紙発行
- ・ホームページの運営

##### (2) 反省

広報誌については、期限を守り発行することが出来ていた。またホームページで新着情報を PDF により定期的な更新を意識し活動していく事ができた。

##### (3) R3 年度活動予定

- ・施設内の広報誌の発行（年 4 回予定）
- ・ホームページの活用し、工夫したお知らせを行う。

#### 2 身体拘束廃止・虐待防止委員会

##### (1) 活動内容

- ・身体拘束・虐待の状況把握（コールマット、サイドレール等の使用状況や傷・痣に伴う虐待へと繋がる可能性の把握と防止）
- ・身体拘束・虐待防止の研修（個人ワーク、グループワーク）

##### (2) 反省

- ・介護ミスによる傷や痣も見られたが、傷・痣にならないようセクション毎に常に意識できており、委員会内で報告する事ができた。
- ・事例検討を行えたが、今後も定期的実施していく必要がある。

##### (3) R3 年度活動予定

- ・身体拘束・虐待の状況把握、不適切なケアや身体拘束廃止・虐待防止について・定期的に勉強会の実施。

#### 3 研修委員会

##### (1) 活動

- ・毎月 1 回の施設内研修実施と設外研修により、職員の資質向上を目的とし行う。

##### (2) 反省

- ・コロナウイルス感染症により施設外研修は中止が相次ぎ、参加できなかった。  
各委員会による研修を実施することにより、現状に即した研修内容で実施する事が出来とても良かったと思う。  
また、複数回実施することによる参加及び資料の配布をすることにより、多くの方に情報を伝えられたと思う。

##### (3) R3 年度活動予定

- ・新採用者への研修の実施の継続及び職員の基礎地知識・介護技術向上の研修を行う。
- ・院内研修について、セクション別、各ユニット別など、少人数での研修及び実技を複数回行うなど検討していきたい。
- ・施設外研修については、ZOOM 等の研修を積極的に行く

#### 4 行事实行委員会

##### (1) 活動内容

- ・ 行事の企画
- ・ 各セクションへの行事内容の伝達
- ・ 行事の反省により既存の行事の充実
- ・ 個別誕生会の企画・実施・報告

##### (2) 反 省

- ・ 予定していた行事は新型コロナウイルスの感染予防対により、施設全体で集まって行う行事や外部の方を呼んでの余興鑑賞は中止する事が多かった。時間や場所を分けて実施するなど、実施方法を工夫する事で夏祭りや敬老祝賀会など実施する事ができた。
- ・ 各行事の反省をいかしながら、入居者様や利用者様の心身の状況を考慮して内容の変更を行うことができた。
- ・ 個別誕生会は担当職員のシフト等によって誕生月に実施できない事もあったが、遅れながらも何とか実施ができています。

##### (3) R3 年度活動予定

- ・ 行事の立案、反省

#### 5 防災・災害対策委員会

##### (1) 活動内容

- ・ 施設全般における防災計画、非難訓練の計画と実施、災害時の対策に関すること。
- ・ 防災訓練について、感染予防のため防災協会立ち合いの防災訓練を行わず机上訓練を実施。

##### (2) 反 省

- ・ 感染予防の為、外部立合いの防災訓練を行わず机上訓練を行った。
- ・ 防火管理自主チェック表にて各セクションの防災意識向上に努めた。

##### (3) R3 年度活動予定

- ・ 防災、災害訓練の実施、防火管理自主チェック表活用による職員への防災意識強化

#### 6 給食委員会

##### (1) 活動内容

- ・ 施設で提供する食生活全般に関すること。  
(行事食の内容検討、日常の食事について意見交換と改善に向けての検討、嗜好調査、栄養ケアマネジメント報告)

##### (2) 反 省

- ・ 行事食については、前年の反省や意見を元に現在の入居者様の状況を踏まえて、内容を一部変更し問題なく実施できた。
- ・ 日常の食事については、検食簿や各セクションの意見により、メニューや味付けなど厨房内で調整を行うも、改善できない事もあった。
- ・ 嗜好調査については、アンケート形式での実施は難しい為、委員が中心となって入居者様の意見や要望の把握に努め、委員会で検討する。

##### (3) R3 年度活動予定

- ・ 食事についての意見交換、行事食の検討。

## 7 事故防止対策委員会

### (1) 活動内容

- ・事故、ヒヤリハット件数の把握
- ・誤薬についての検討
- ・事故・ヒヤリハットパソコン入力開始
- ・会議内で勉強会の実施

### (2) 反省

- ・勉強会をしていくことで事故に対する意識を高めていくよう努めたが、業務に生かすまでには至らず、継続的な勉強が必要と思われる。
- ・内服薬セットに関しての見直しを行い、誤薬のリスクを軽減できた。
- ・誤薬の件に関して複数回各セクションから意見を出してもらうことで施設の問題として意識してもらえたと思われる。

### (3) R3 年度活動予定

- ・入力された事故データを元に要因の分析をして再発防止に努めていく
- ・委員会内での勉強会を通し、日常から危険予測できるよう事故に関する知識を高めていく
- ・他部署で起きた事故でも施設の問題として捉え、再発防止について知恵を出し合えるよう話し合いを行う会議の場としていく

## 8 感染対策委員会

### (1) 活動内容

- ・感染症発生状況及び施設内環境の報告をし、情報の共有、対応策の検討・実施を行い感染症の蔓延防止に努めた。
- ・食中毒の発生や新型コロナウイルスなど感染症の蔓延無く経過した。
- ・施設全般における環境衛生などの改善について検討、実施した。

### (2) 反省

- ・入居者様や職員の健康状態の把握を心掛け、体調不良時は看護師への報告が出来た。
- ・新型コロナウイルス感染症が全国で流行している中、職員の感染予防策の徹底と、職員の意識を高めることができた。

### (3) R3 年度活動予定

- ・全職員の意識を高めて、流行性疾患および食中毒の予防、蔓延防止に努める。
- ・感染症予防に関する研修を行い、知識を深める。新人職員への指導を行う。
- ・施設内環境の点検、改善について、感染対策委員が率先して点検を行う。
- ・マニュアルの見直しを行う。

## 9 褥瘡対策チーム会議

### (1) 活動内容

- ・施設全般における褥瘡予防に関すること
- ・当施設の褥瘡対策に関する危険因子評価表にモニタリング項目を追加し、全入居者様の褥瘡発生リスクを定期的に評価し対象者の褥瘡予防計画書を作成、それに基づいたケアを提供、褥瘡予防に努めた。
- ・褥瘡発生時、褥瘡診療計画書を作成し、各セクション協力のもと、計画の実施、評価を行い、褥瘡ケアを行う。

## (2) 反 省

- ・ 報告書を活用し、褥瘡発生状況、予防対策等の把握を行った。
- ・ 褥瘡発生者の事例報告を行い、振り返りを行った。
- ・ 褥瘡発生予防に努めたが、褥瘡の発生があった。また、直接ケアに携わる職員へのケア方法の統一が図れなかった。

## (3) R3 年度活動予定

- ・ 褥瘡発生の危険因子とモニタリング指標の評価、予防計画書の作成により、入居者の褥瘡発生リスクの管理、および褥瘡予防策を継続実施する。
- ・ 褥瘡発生状況の把握を行い、褥瘡予防策、発生時の褥瘡ケアを実施する。
- ・ 一人一人の褥瘡ケアや予防に関する知識や技術の向上を目指して、研修を行う。

# 10 安全衛生委員会

## (1) 活動内容

- ・ 職員の安全健康の確保、職場環境に関すること。
- ・ 9月～健康診断（1回目）を実施した。
- ・ 3月～健康診断（2回目）を実施した。
- ・ インフルエンザ予防接種を実施した。
- ・ ストレスチェックを実施した。
- ・ 福利厚生センターより情報提供を行った。

## (2) 反 省

- ・ 職場内の環境改善について、各セクションより意見を頂き改善することが出来た。
- ・ 福利厚生センターより年金や労災、健康増進事業についての情報提供を行った。
- ・ 健康診断、インフルエンザ予防接種は計画通り実施することができた。

## (3) R3 年度活動予定

- ・ 職員の安全健康の確保、職場環境に関すること。
- ・ 福利厚生センターからの情報提供。
- ・ 各健康診断の実施、新型コロナウイルス予防接種及びインフルエンザ予防接種の実施

# 11 相談員連携会議

## (1) 活動内容

- ・ 各部署の相談状況などの報告
- ・ 迅速な連携を図るための相談状況など情報共有
- ・ 業績をあげるための方法や方策を検討する

## (2) 反省

- ・ 各セクションからの報告による情報共有やグラフを活用することで現状把握をすることはできたが、その情報をもとに分析し改善案などにつなげることができなかった。

## (3) R3 年度活動予定

- ・ 各部署の相談状況などの報告を行い、法人全体の情報共有を図ることにより、稼働率の上昇やスムーズな入所につなげていく。